

立川市第3期障害児福祉計画策定  
のためのアンケート調査  
結果報告書

令和5（2023）年11月

立川市

## 目 次

調査の概要	1
集計結果	3
アンケート調査の記入者	3
I 調査対象者について	4
II 障害の状況などについて	8
III 暮らしや日常生活の支援について	16
IV 保育・教育等の状況について	22
V 主にお子さまのケアをしている方について	27
VI 福祉サービス等の利用について	34
VII 災害時の対策、緊急時の対応などについて	49
VIII 差別や権利擁護のことについて	55
IX 将来の希望などについて	64
X 障害者施策等に関する意見・要望(自由記載)	68

## 調査の概要

### 1 調査の目的

児童福祉法第33条の20に基づき、「立川市第3期障害児福祉計画」（計画期間：令和6（2024）年度～8（2026）年度）を策定するための基礎資料として、市内に居住し障害児通所支援等を利用されている方を対象にアンケート調査を実施しました。

### 2 対象者

令和5（2023）年3月末時点の障害児通所支援等受給者801人の中から、抽出した500人

### 3 調査期間

令和5（2023）年7月1日にアンケート調査を対象者へ郵送し、回答期限を7月31日に設定しました。

### 4 調査方法

無記名で回答していただき、アンケート調査を発送した際に同封した専用封筒で回答を返送していただきました。なお、アンケート調査にはルビをふりました。

### 5 回収状況

期限後に提出があったものを含め、合計223人から回答があり、回収率は44.6%でした。

### 6 調査項目

調査項目については、次のとおりです。

区 分	調 査 項 目
アンケート調査の記入者	アンケート調査の記入者
I 調査対象者について	年齢、性別、世帯状況
II 障害の状況などについて	障害手帳等種別、障害等級、医療的ケアの有無等
III 暮らしや日常生活の支援について	支援状況について（食事、トイレ、入浴、コミュニケーション、外出等）、日常的な支援者の有無、かかりつけ医師の有無
IV 保育・教育等の状況について	通園・通学の状況、通園・通学の心配ごと、進路の希望
V 主にお子さまのケアをしている方について	調査対象者以外のケアの有無、仕事の有無、相談相手の有無、情報の入手先等
VI 福祉サービス等の利用について	利用サービス、今後の利用希望
VII 災害時の対策、緊急時の対応などについて	避難の可否、支援者の有無、個人情報の提供、ヘルプマーク、ヘルプカード、オ・ト・モ・ダ・チ・カード
VIII 差別や権利擁護のことについて	市の条例について、差別的対応の有無、成年後見制度の活用
IX 将来の希望などについて	将来の暮らしの希望、暮らしの心配ごと

X 障害者施策等に関する意見・要望	自由記載
-------------------	------

## 7 注意事項

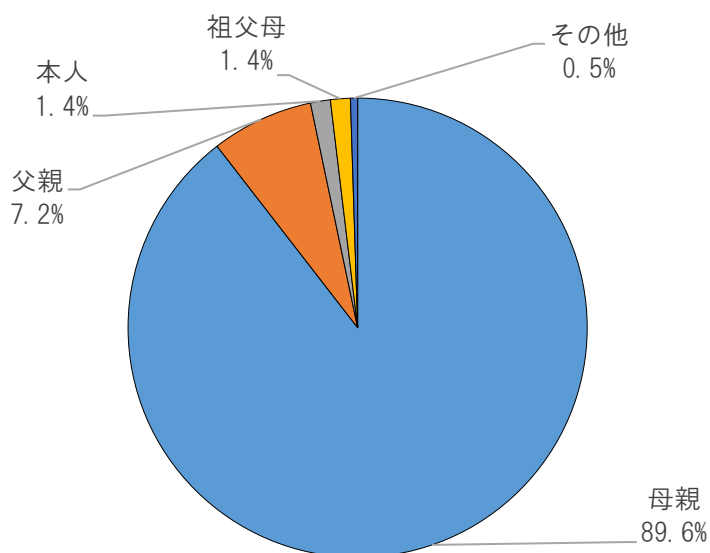
調査結果（表中）の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示しています。したがって、構成比の合計は必ずしも100%にならない場合があります。

## 集計結果

アンケート調査の記入者

## 問1 お答えいただくのは、お子さまからみて、どなたにあたりますか。

【回答者数 222人】



【障害別回答者数（参考）】

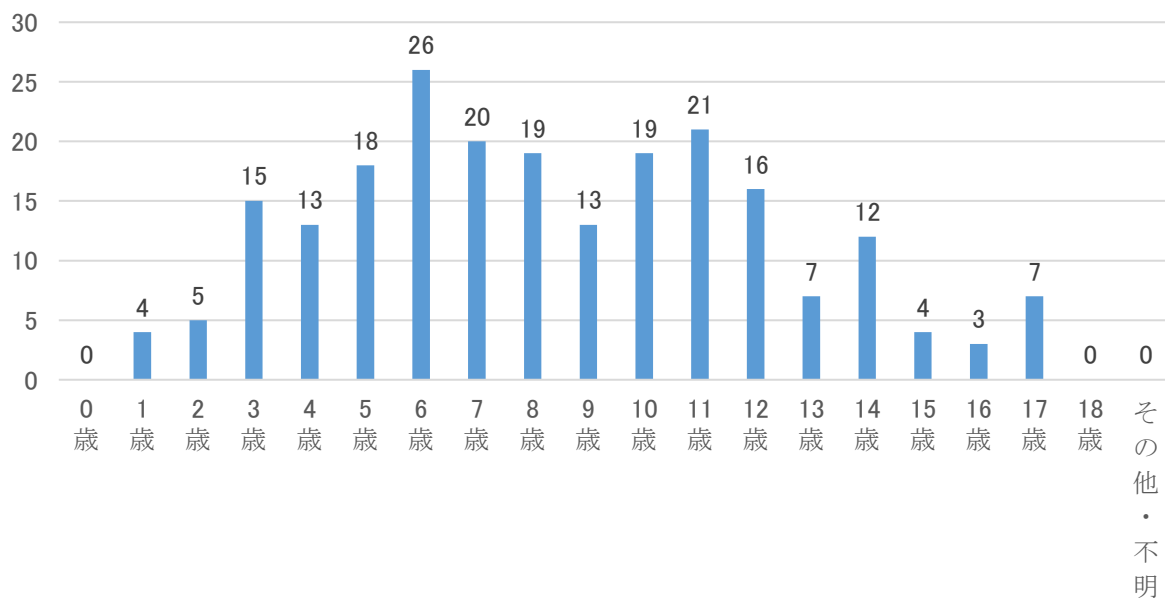
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
母親	199	89.6%	20	61	12	26
父親	16	7.2%	2	3	2	5
本人	3	1.4%	0	0	0	1
祖父母	3	1.4%	0	0	0	0
他の親族	0	0.0%	0	0	0	0
その他	1	0.5%	0	0	0	1
回答者計	222	100%	22	64	14	33
無回答	1	—	0	0	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

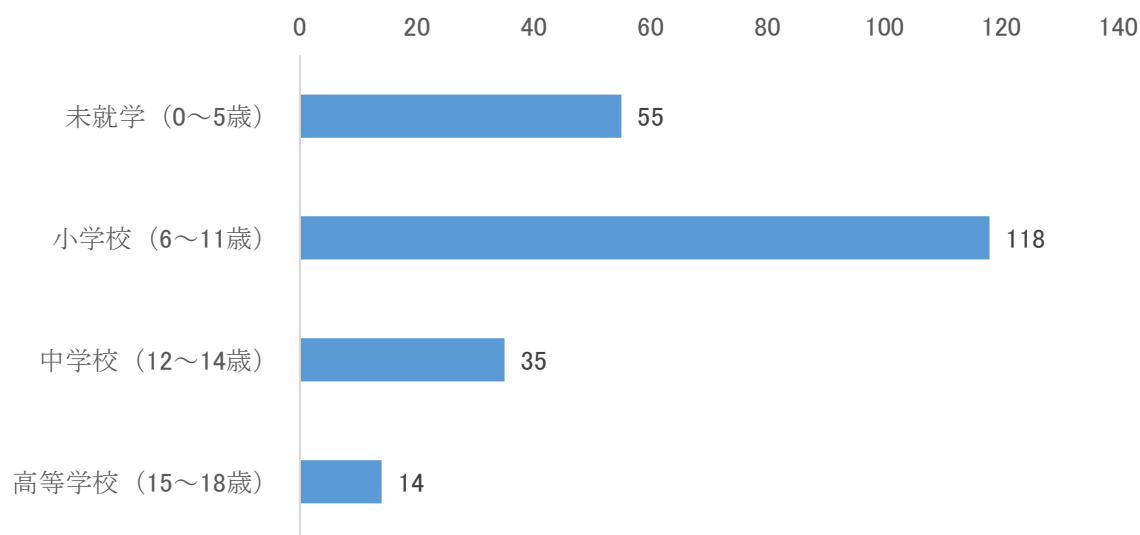
I 調査対象者について

問2 お子さまの年齢をお答えください。(令和5(2023)年4月1日現在)

【回答者数 222人】



《参考》 学齢(年齢区分)別の人数



※問2の回答に基づき、0~5歳とした回答者全てを「未就学」、6~11歳とした回答者全てを「小学校」、12~14歳とした回答者全てを「中学校」、15~18歳とした回答者全てを「高等学校」として集計しています(その他・不明は除外)。

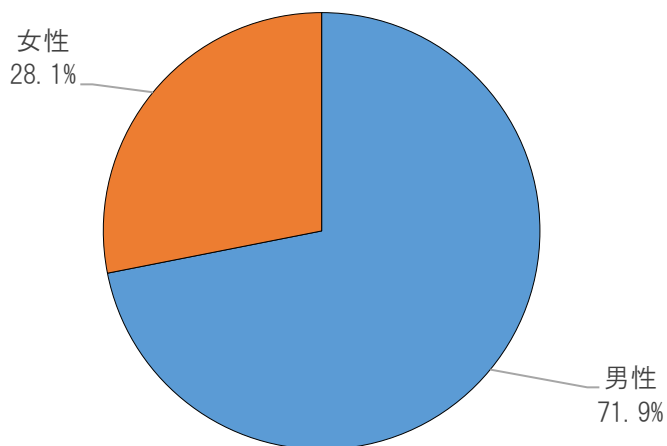
【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
0歳	0	0.0%	0	0	0	0
1歳	4	1.8%	1	0	1	0
2歳	5	2.3%	0	1	0	0
3歳	15	6.8%	0	1	0	1
4歳	13	5.9%	1	2	0	3
5歳	18	8.1%	2	3	0	4
6歳	26	11.7%	2	4	1	2
7歳	20	9.0%	1	6	1	3
8歳	19	8.6%	3	8	2	2
9歳	13	5.9%	3	3	0	3
10歳	19	8.6%	0	4	2	3
11歳	21	9.5%	4	9	2	2
12歳	16	7.2%	2	3	1	2
13歳	7	3.2%	1	3	0	1
14歳	12	5.4%	1	6	1	3
15歳	4	1.8%	0	3	2	2
16歳	3	1.4%	1	2	0	1
17歳	7	3.2%	0	6	1	1
18歳	0	0.0%	0	0	0	0
その他・不明	0	0.0%	0	0	0	0
回答者計	222	100%	22	64	14	33
無回答	1	—	0	0	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

問3 お子さまの性別をお答えください。

【回答者数 221人】



【障害別回答者数（参考）】

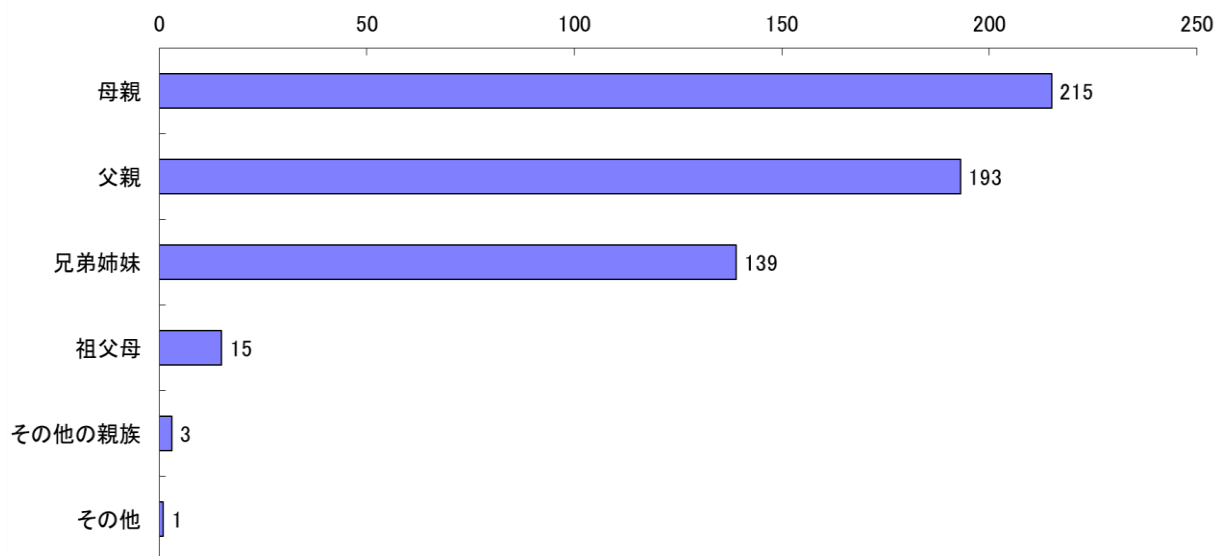
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
男性	159	71.9%	14	42	9	25
女性	62	28.1%	8	22	5	7
その他	0	0.0%	0	0	0	0
回答者計	221	100%	22	64	14	32
無回答	2	—	0	0	0	1
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。



## 問4 今、お子さまと一緒に暮らしている人は、どなたですか。（複数回答可）

【回答者数 222人】



【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
母親	215	96.8%	21	63	14	32
父親	193	86.9%	19	55	11	29
兄弟姉妹	139	62.6%	8	43	8	22
祖父母	15	6.8%	2	7	0	0
その他の親族	3	1.4%	0	0	1	1
その他	1	0.5%	0	0	0	1
無回答	1	—	0	0	0	0

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

※構成比の算出方法：（各項目の）人数／回答者数

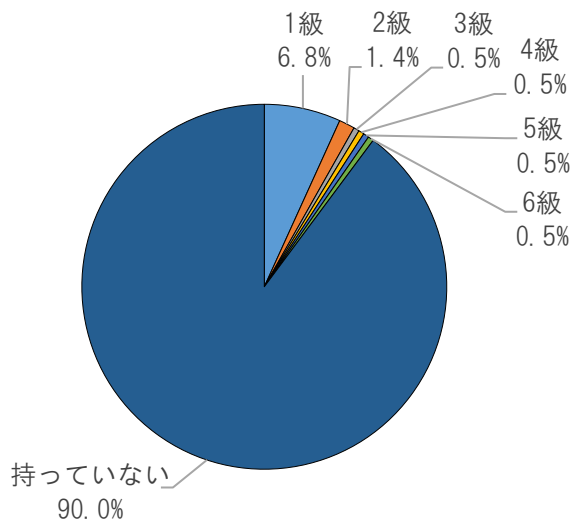
## 【その他回答の主な内容】

○曾祖父母

II 障害の状況などについて

問5 身体障害者手帳をお持ちですか。

【回答者数 219人】



選択項目	人数	構成比
1級	15	6.8%
2級	3	1.4%
3級	1	0.5%
4級	1	0.5%
5級	1	0.5%
6級	1	0.5%
持っていない	197	90.0%
回答者計	219	100%
無回答	4	—
合計	223	—

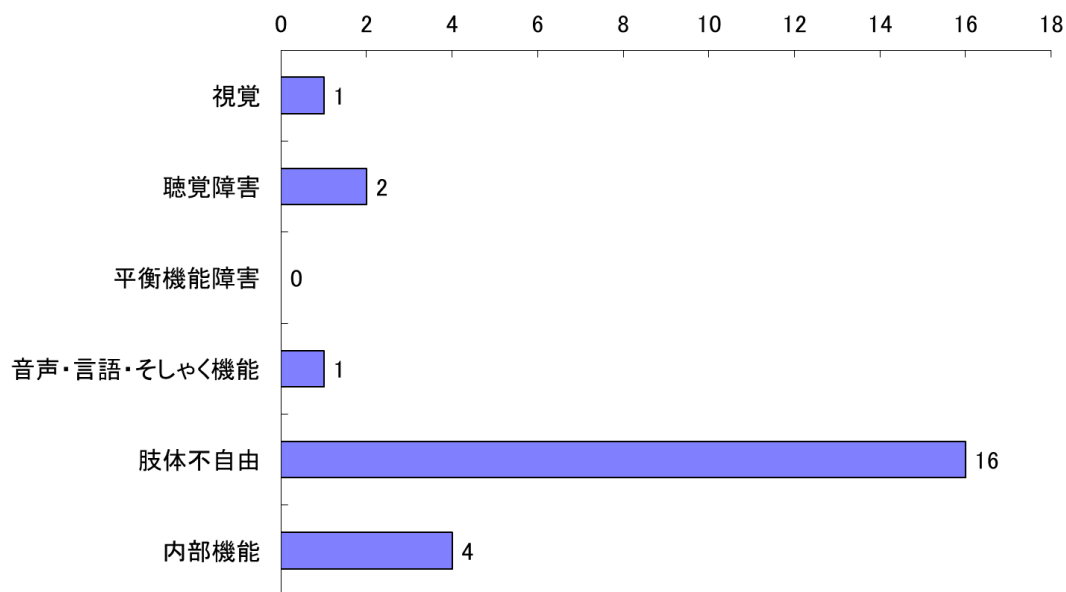
<参考>身体障害者手帳—学齢（年齢区分）別の状況

選択項目	未就学		小学校		中学校		高等学校	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
1級	4	7.3%	8	7.0%	2	5.7%	1	7.1%
2級	0	0.0%	2	1.7%	1	2.9%	0	0.0%
3級	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
4級	0	0.0%	0	0.0%	1	2.9%	0	0.0%
5級	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
6級	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
持っていない	51	92.7%	102	88.7%	31	88.6%	13	92.9%
回答者計	55	100%	115	100%	35	100%	14	100%
無回答	0	—	3	—	0	—	0	—
合計	55	—	118	—	35	—	14	—

※年齢が不明な方がいるため、選択項目ごとの、人数の合計と全体の人数は異なる場合があります。

問6 身体障害者手帳をお持ちの場合、記載されている障害は次のうちどれですか。(複数回答可)

【回答者数 21人】



選択項目	人数	構成比
視覚	1	4.8%
聴覚	2	9.5%
平衡機能	0	0.0%
音声・言語・そしゃく機能	1	4.8%
肢体不自由	16	76.2%
内部機能	4	19.0%
無回答	1	—

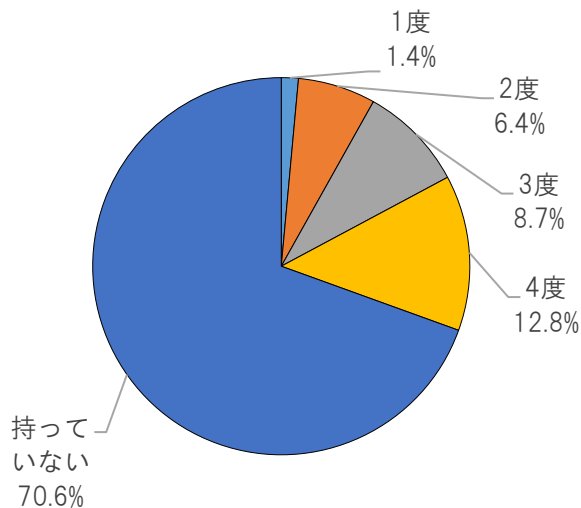
※構成比の算出方法：(各項目の)人数/回答者数

《参考》 記載されている障害—学齢(年齢区分)別の状況

選択項目	未就学 人数	小学校 人数	中学校 人数	高等学校 人数
視覚	0	1	0	0
聴覚	0	2	0	0
平衡機能	0	0	0	0
音声・言語・そしゃく機能	0	1	0	0
肢体不自由	3	10	2	1
内部機能	1	2	1	0

問7 愛の手帳（療育手帳）をお持ちですか。

【回答者数 218人】



選択項目	人数	構成比
1度	3	1.4%
2度	14	6.4%
3度	19	8.7%
4度	28	12.8%
持っていない	154	70.6%
回答者計	218	100%
無回答	5	—
合計	223	—

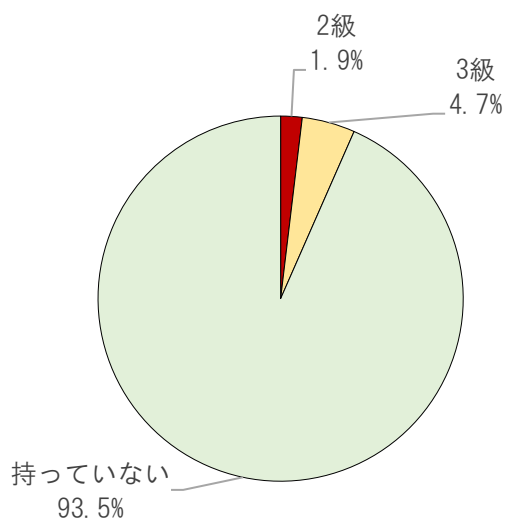
《参考》 愛の手帳（療育手帳）一学齢（年齢区分）別の状況

選択項目	未就学		小学校		中学校		高等学校	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
1度	0	0.0%	3	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
2度	2	3.7%	6	5.2%	1	2.9%	5	35.7%
3度	4	7.4%	11	9.5%	3	8.8%	1	7.1%
4度	1	1.9%	14	12.1%	8	23.5%	5	35.7%
持っていない	47	87.0%	82	70.7%	22	64.7%	3	21.4%
回答者計	54	100%	116	100%	34	100%	14	100%
無回答	1	—	2	—	1	—	0	—
合計	55	—	118	—	35	—	14	—

※年齢が不明な方がいるため、選択項目ごとの、人数の合計と全体の人数は異なる場合があります。

問8 精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

【回答者数 214人】



選択項目	人数	構成比
1級	0	0.0%
2級	4	1.9%
3級	10	4.7%
持っていない	200	93.5%
回答者計	214	100%
無回答	9	—
合計	223	—

《参考》 精神障害者保健福祉手帳一学齢（年齢区分）別の状況

選択項目	未就学		小学校		中学校		高等学校	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
1級	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2級	0	0.0%	4	3.5%	0	0.0%	0	0.0%
3級	1	1.9%	4	3.5%	2	6.1%	3	21.4%
持っていない	53	98.1%	105	92.9%	31	93.9%	11	78.6%
回答者計	54	100%	113	100%	33	100%	14	100%
無回答	1	—	5	—	2	—	0	—
合計	55	—	118	—	35	—	14	—

※年齢が不明な方がいるため、選択項目ごとの、人数の合計と全体の人数は異なる場合があります。

《参考》 重複障害について

1) 身体障害と知的障害の重複障害者数

		愛の手帳				
		1度	2度	3度	4度	計
身体障害者手帳	1級	2	6	1	0	9
	2級	0	0	0	1	1
	3級	0	1	0	0	1
	4級	0	0	0	1	1
	5級	0	1	0	0	1
	6級	0	0	0	0	0
	計	2	8	1	2	13

2) 身体障害と精神障害の重複障害者数

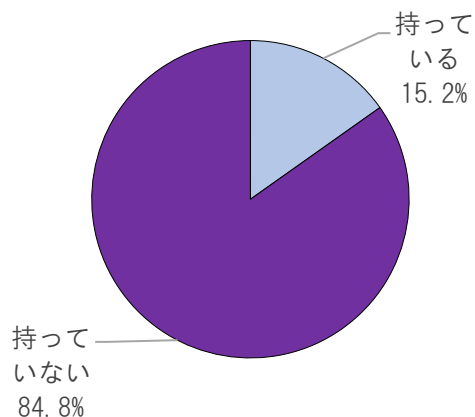
		精神障害者保健福祉手帳			
		1級	2級	3級	計
身体障害者手帳	1級	0	0	0	0
	2級	0	0	0	0
	3級	0	0	0	0
	4級	0	0	0	0
	5級	0	0	0	0
	6級	0	0	0	0
	計	0	0	0	0

3) 知的障害と精神障害の重複障害者数

		精神障害者保健福祉手帳			
		1級	2級	3級	計
愛の手帳	1度	0	0	0	0
	2度	0	0	0	0
	3度	0	0	1	1
	4度	0	0	1	1
	計	0	0	2	2

問9 自立支援医療費（精神通院）支給認定受給者証をお持ちですか。

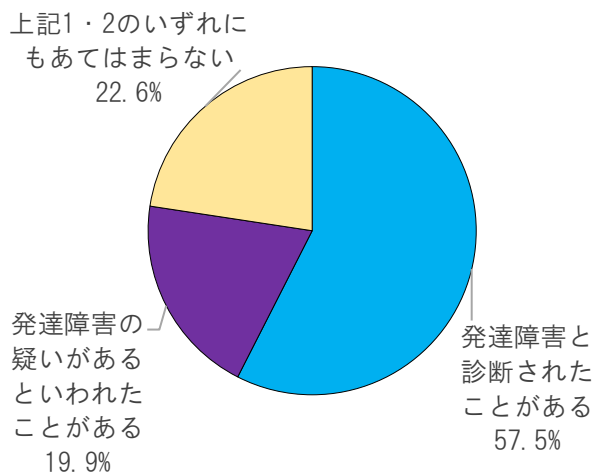
【回答者数 217人】



選択項目	人数	構成比
持っている	33	15.2%
持っていない	184	84.8%
回答者計	217	100%
無回答	6	—
合計	223	—

問10 発達障害に関してあてはまるものに○をつけてください。

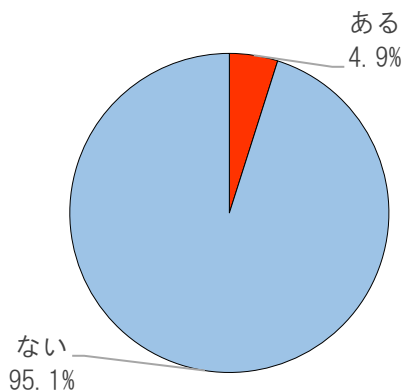
【回答者数 221人】



選択項目	人数	構成比
発達障害と診断されたことがある	127	57.5%
発達障害の疑いがあるといわれたことがある	44	19.9%
上記1・2のいずれにもあてはまらない	50	22.6%
回答者計	221	100%
無回答	2	—
合計	223	—

問 11 強度行動障害があるといわれたことがありますか。

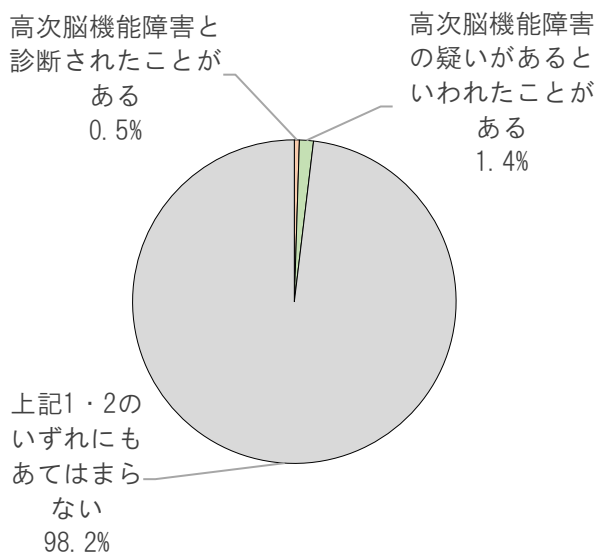
【回答者数 223 人】



選択項目	人数	構成比
ある	11	4.9%
ない	212	95.1%
回答者計	223	100%
無回答	0	—
合計	223	—

問 12 高次脳機能障害に関してあてはまるものに○をつけてください。

【回答者数 218 人】

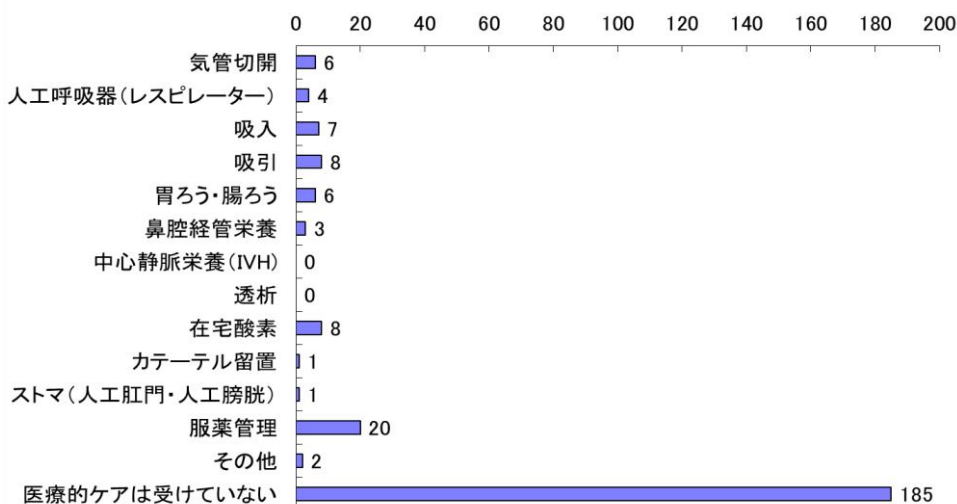


選択項目	人数	構成比
高次脳機能障害と診断されたことがある	1	0.5%
高次脳機能障害の疑いがあるといわれたことがある	3	1.4%
上記1・2のいずれにもあてはまらない	214	98.2%
回答者計	218	100%
無回答	5	—
合計	223	—



問 13 現在、次のような医療的ケアを受けていますか。(複数回答可)

【回答者数 213 人】



【障害別回答者数 (参考)】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
気管切開	6	2.8%	6	2	0	0
人工呼吸器(レスピレーター)	4	1.9%	4	1	0	0
吸入	7	3.3%	7	4	0	0
吸引	8	3.8%	8	4	0	0
胃ろう・腸ろう	6	2.8%	6	3	0	0
鼻腔経管栄養	3	1.4%	3	2	0	0
中心静脈栄養 (IVH)	0	0.0%	0	0	0	0
透析	0	0.0%	0	0	0	0
在宅酸素	8	3.8%	8	4	0	0
カテーテル留置	1	0.5%	0	1	0	0
ストマ(人工肛門・人工膀胱)	1	0.5%	0	0	0	1
服薬管理	20	9.4%	9	10	1	2
その他	2	0.9%	0	0	0	0
医療的ケアは受けていない	185	86.9%	8	47	12	28
無回答	10	—	0	3	1	2

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

※構成比の算出方法：(各項目の)人数/回答者数

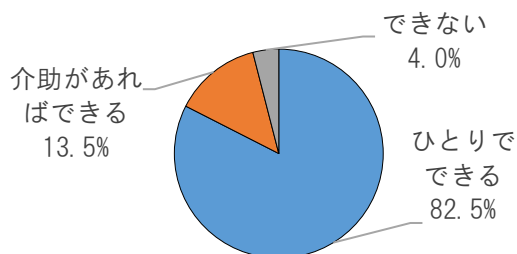
【その他回答の主な内容】

- 浣腸・ブジー
- 肌ケア(湿疹)

Ⅲ 暮らしや日常生活の支援について

問 14 お子さまは次の項目について、ひとりでどの程度できますか。

① 食事 【回答者数 223 人】

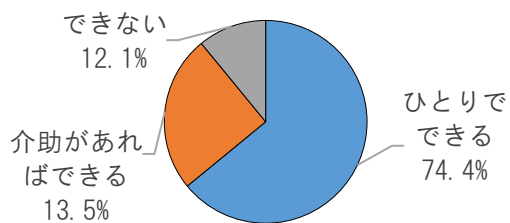


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
ひとりできる	184	82.5%	5	39	13	29
介助があればできる	30	13.5%	9	21	1	3
できない	9	4.0%	8	4	0	1
回答者計	223	100%	22	64	14	33
無回答	0	—	0	0	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

② トイレ 【回答者数 223 人】

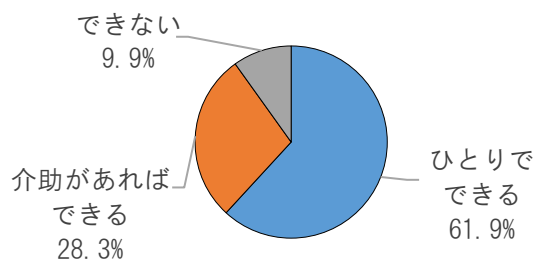


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
ひとりできる	166	74.4%	6	37	12	29
介助があればできる	30	13.5%	4	15	1	3
できない	27	12.1%	12	12	1	1
回答者計	223	100%	22	64	14	33
無回答	0	—	0	0	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

③ 入浴 【回答者数 223人】

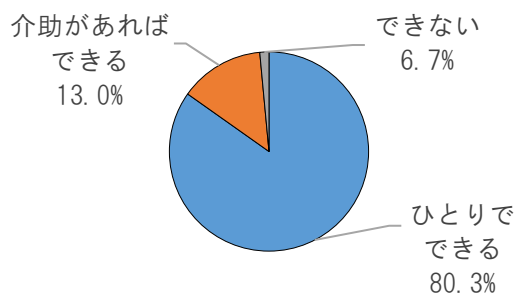


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
ひとりでできる	138	61.9%	5	28	12	26
介助があればできる	63	28.3%	5	26	1	5
できない	22	9.9%	12	10	1	2
回答者計	223	100%	22	64	14	33
無回答	0	—	0	0	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

④ 着替え 【回答者数 223人】

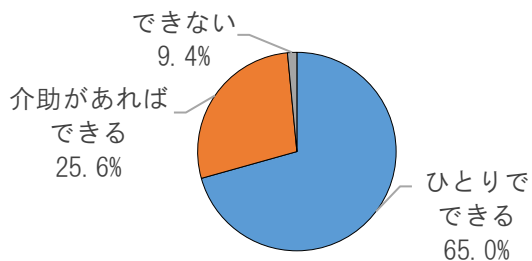


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
ひとりでできる	179	80.3%	5	41	14	32
介助があればできる	29	13.0%	7	17	0	1
できない	15	6.7%	10	6	0	0
回答者計	223	100%	22	64	14	33
無回答	0	—	0	0	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

⑤ 洗顔・歯みがき 【回答者数 223人】

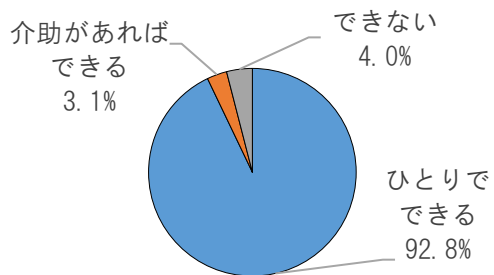


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
ひとりできる	145	65.0%	5	27	12	28
介助があればできる	57	25.6%	7	28	2	4
できない	21	9.4%	10	9	0	1
回答者計	223	100%	22	64	14	33
無回答	0	—	0	0	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

⑥ 家の中の移動 【回答者数 223人】

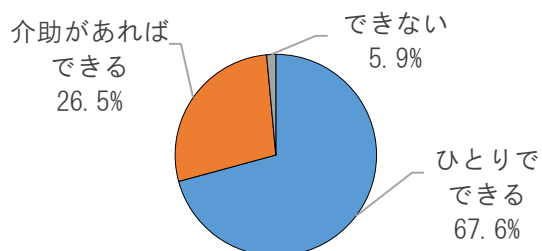


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
ひとりできる	207	92.8%	8	55	14	33
介助があればできる	7	3.1%	5	4	0	0
できない	9	4.0%	9	5	0	0
回答者計	223	100%	22	64	14	33
無回答	0	—	0	0	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

⑦ コミュニケーション 【回答者数 219人】

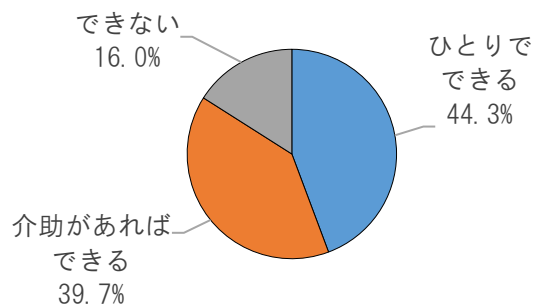


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
ひとりでできる	148	67.6%	7	22	8	27
介助があればできる	58	26.5%	8	32	6	6
できない	13	5.9%	7	8	0	0
回答者計	219	100%	22	62	14	33
無回答	4	—	0	2	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

⑧ 外出 【回答者数 219人】



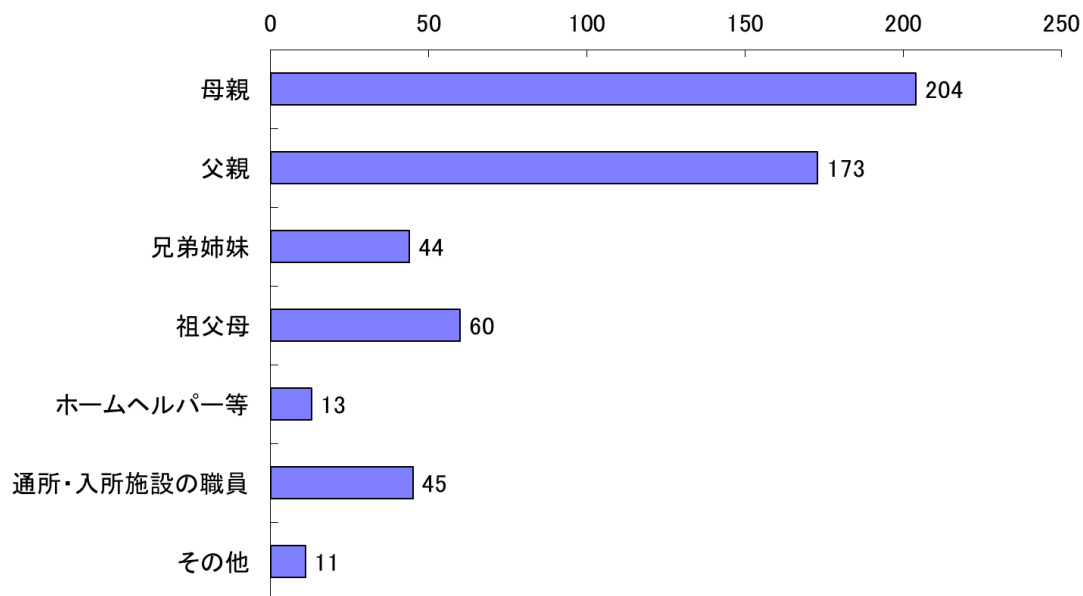
【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
ひとりでできる	97	44.3%	3	13	7	24
介助があればできる	87	39.7%	8	33	6	6
できない	35	16.0%	11	16	1	3
回答者計	219	100%	22	62	14	33
無回答	4	—	0	2	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

問 15 日常生活で介助や援助が必要なとき、支援してくれる方はどなたですか。  
(複数回答可)

【回答者数 219人】



【障害別回答者数 (参考)】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
母親	204	93.2%	21	62	12	29
父親	173	79.0%	18	51	6	24
兄弟姉妹	44	20.1%	3	16	3	5
祖父母	60	27.4%	3	12	2	7
ホームヘルパー等	13	5.9%	9	7	1	1
通所・入所施設の職員	45	20.5%	6	19	1	6
その他	11	5.0%	3	3	0	2
無回答	4	-	0	1	1	1

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

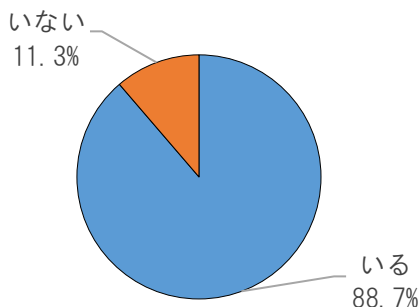
※構成比の算出方法：(各項目の)人数/回答者数

【その他回答の主な内容】

- 園の加配の先生 ○介助員 ○訪問看護師 ○叔父(母方) ○同居親族
- 小学校の先生・支援員 ○保育園の先生 ○ファミリーサポート・ベビーシッター

問 16 健康相談や治療をしてくれる身近な医師（かかりつけ医）はいますか。

① かかりつけ医 【回答者数 221 人】

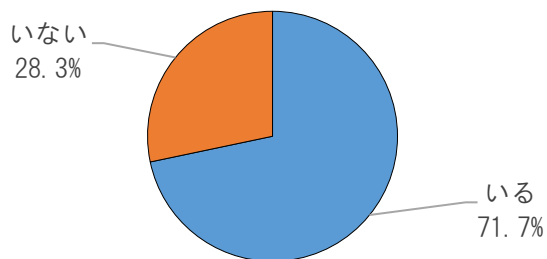


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
いる	196	88.7%	22	57	13	30
いない	25	11.3%	0	6	1	3
回答者計	221	100%	22	63	14	33
無回答	2	-	0	1	0	0
合計	223	-	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

② かかりつけ歯科医 【回答者数 219 人】



【障害別回答者数（参考）】

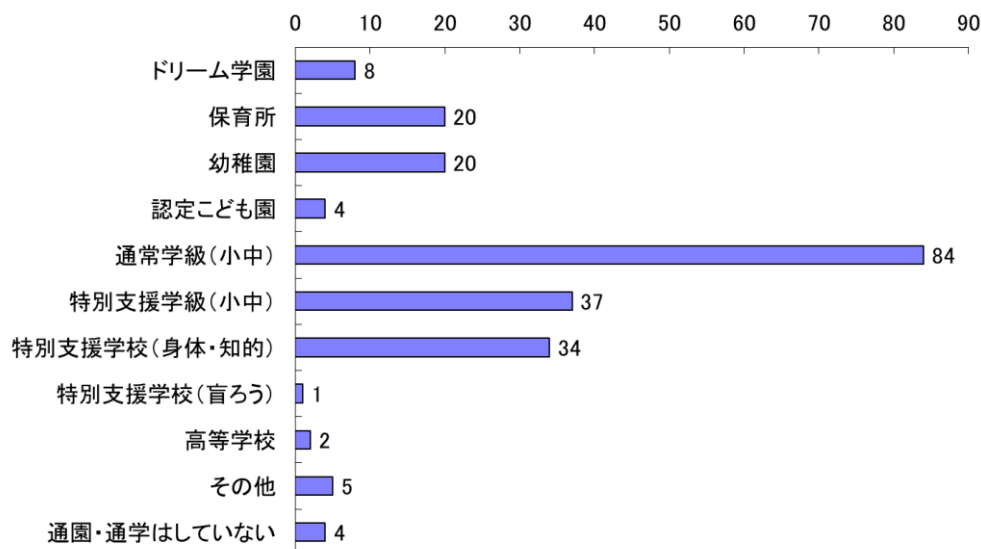
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
いる	157	71.7%	21	50	9	21
いない	62	28.3%	1	14	4	11
回答者計	219	100%	22	64	13	32
無回答	4	-	0	0	1	1
合計	223	-	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

IV 保育・教育等の状況について

問17 現在、通園・通学しているところはどこですか。

【回答者数 219人】



【障害別回答者数(参考)】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
ドリーム学園	8	3.7%	1	3	0	1
保育所	20	9.1%	0	2	0	5
幼稚園	20	9.1%	0	0	0	3
認定こども園	4	1.8%	0	0	0	0
通常学級(小中)	84	38.4%	5	2	6	14
特別支援学級(小中)	37	16.9%	0	21	4	2
特別支援学校(身体・知的)	34	15.5%	12	30	1	2
特別支援学校(盲ろう)	1	0.5%	1	1	0	0
高等学校	2	0.9%	0	1	2	2
その他	5	2.3%	2	3	1	2
通園・通学はしていない	4	1.8%	1	0	0	0
回答者計	219	100%	22	63	14	31
無回答	4	—	0	1	0	2
合計	223	—	22	64	14	33

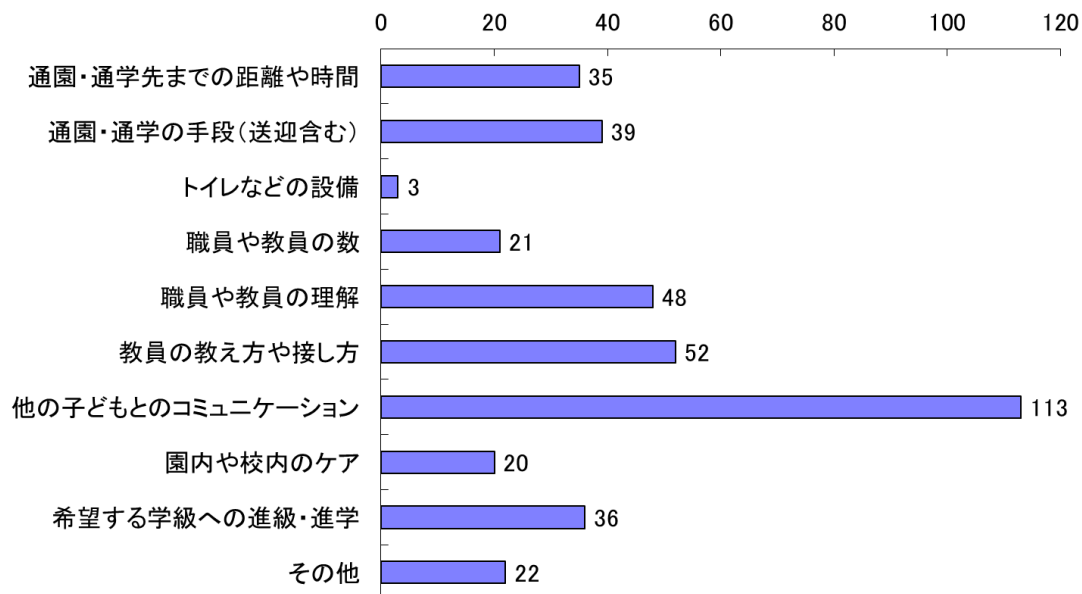
※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

【その他回答の主な内容】 ○私立中学校 ○通信制高校 ○児童発達支援 ○療育センター



問18 通園・通学する上で困っていることや不安なことはありますか。(複数回答可)

【回答者数 186人】



【障害別回答者数(参考)】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
通園・通学先までの距離や時間	35	18.8%	4	13	2	4
通園・通学の手段(送迎含む)	39	21.0%	9	22	2	2
トイレなどの設備	3	1.6%	0	1	0	0
職員や教員の数	21	11.3%	0	11	1	3
職員や教員の理解	48	25.8%	1	8	1	5
教員の教え方や接し方	52	28.0%	0	9	3	8
他の子どもとのコミュニケーション	113	60.8%	2	26	8	16
園内や校内のケア	20	10.8%	2	7	0	2
希望する学級への進級・進学	36	19.4%	3	11	3	3
その他	22	11.8%	1	6	2	4
無回答	37	—	9	14	2	5

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

※構成比の算出方法：(各項目の)人数/回答者数

【その他回答の主な内容】

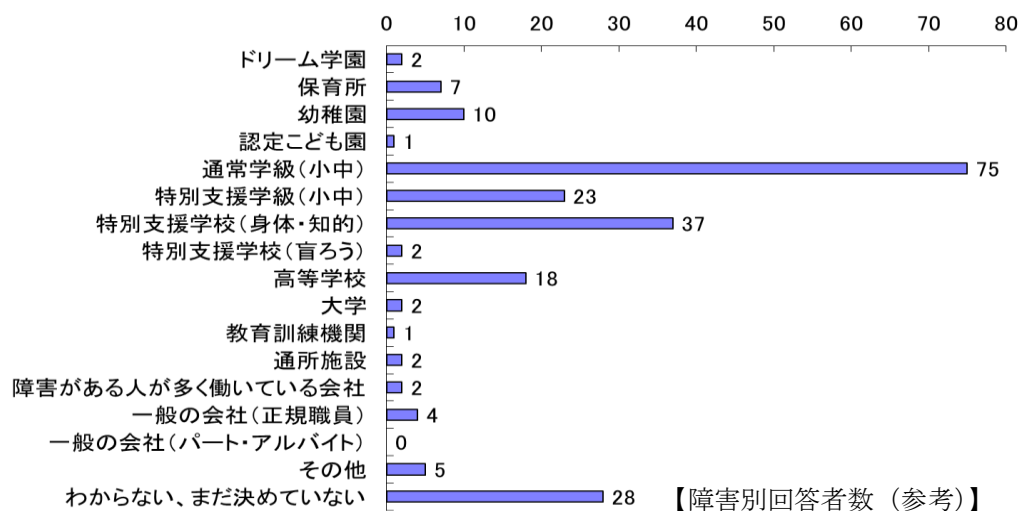
- 行きしぶり      ○通常学級の子どもたちの神経発達症への理解度
- 本人の気持ち      ○通常級の子に冷やかされる
- スクールバス停への迎えの時間が年々遅くなり、保護者の勤務先への出勤がぎりぎりになっている
- 幼稚園4年目になるので、幼稚園には慣れ、先生達も娘に寄り添い対応してくださります
- 1人通学練習で親が付き添えない      ○1クラス35名のため先生方が子供へ目が届かない
- 施設担当の医師と職員との連携

《参考》 困っていることや不安なことー通園・通学先別の状況

	通園・通学先までの距離や時間	通園・通学的手段(送迎含む)	トイレなどの設備	職員・教員の数	職員や教員の理解	方教員の教え方や接し方	他の子どもとのコミュニケーション	園内や校内のケア	希望する学級への進級・進学	その他
ドリーム学園	1	0	0	0	0	0	2	0	1	2
保育所	2	1	0	2	3	4	12	3	4	3
幼稚園	2	1	0	1	3	3	10	1	4	4
認定こども園	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0
通常学級(小中)	8	4	2	4	26	30	50	6	12	4
特別支援学級(小中)	11	12	1	11	9	10	19	7	11	5
特別支援学校(身体・知的)	9	15	0	3	3	3	12	2	2	4
特別支援学校(盲ろう)	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
高等学校	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0
その他	0	2	0	0	1	0	1	0	1	0
通園・通学はしていない	0	1	0	0	2	2	2	1	0	0

## 問19 当面（直近）の進路として何を希望していますか。

【回答者数 219人】



選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
ドリーム学園	2	0.9%	1	1	0	0
保育所	7	3.2%	1	0	0	0
幼稚園	10	4.6%	0	0	0	1
認定こども園	1	0.5%	0	0	0	0
通常学級(小中)	75	34.2%	2	1	3	10
特別支援学級(小中)	23	10.5%	0	13	1	2
特別支援学校(身体・知的)	37	16.9%	11	30	1	1
特別支援学校(盲ろう)	2	0.9%	1	2	0	0
高等学校	18	8.2%	3	2	2	5
大学	2	0.9%	0	1	1	1
教育訓練機関	1	0.5%	0	0	1	1
通所施設	2	0.9%	0	2	0	0
障害がある人が多く働いている会社	2	0.9%	0	2	0	0
一般の会社(正規職員)	4	1.8%	0	1	2	1
一般の会社(パート・アルバイト)	0	0.0%	0	0	0	0
その他	5	2.3%	1	2	1	2
わからない、まだ決めていない	28	12.8%	2	5	2	7
回答者計	219	100%	22	62	14	31
無回答	4	—	0	2	0	2
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

【その他回答の主な内容】

○情緒固定級    ○生活介護    ○ASD 受け入れ可能なインターナショナルスクール

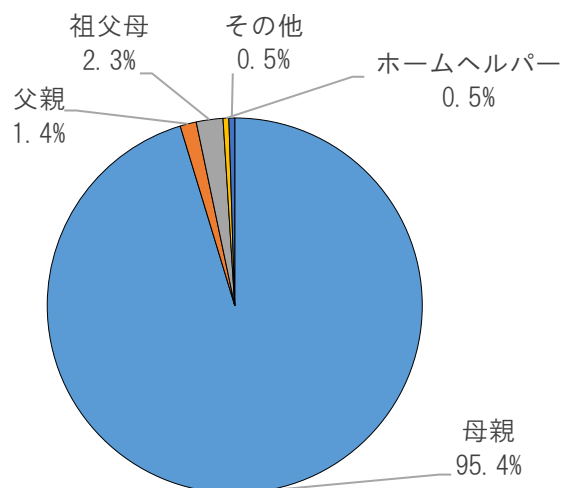
《参考》 当面（直近）の進路－通園・通学先別の状況

	進 路																
	ドリーム学園	保育所	幼稚園	認定こども園	通常学級（小中）	特別支援学級（小中）	特別支援学校（身体・知的）	特別支援学校（盲ろう）	高等学校	大学	教育訓練機関	通所施設	障害がある人が多く働いている会社	一般の会社（正規職員）	一般の会社（パート・アルバイト）	その他	わからない、まだ決めていない
現在																	
ドリーム学園	2	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
保育所	0	6	0	0	7	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
幼稚園	0	0	8	0	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
認定こども園	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通常学級（小中）	0	0	0	0	56	0	0	0	15	1	1	0	0	2	0	0	9
特別支援学級（小中）	0	0	0	0	1	18	7	1	1	0	0	0	0	0	0	1	8
特別支援学校（身体・知的）	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	2	2	1	0	2	2
特別支援学校（盲ろう）	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
通園・通学はしていない	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

V 主にお子さまのケアをしている方について

問 20 家庭の中で、主にお子さまをケアしている方はどなたですか。

【回答者数 219 人】



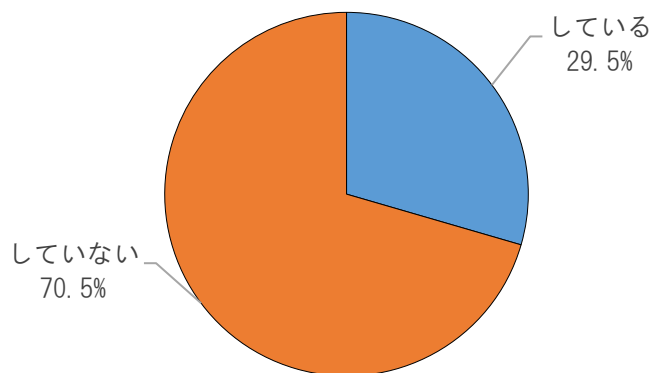
【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
母親	209	95.4%	20	60	14	27
父親	3	1.4%	0	1	0	2
兄弟姉妹	0	0.0%	0	0	0	0
祖父母	5	2.3%	1	2	0	0
ホームヘルパー	1	0.5%	1	0	0	0
その他	1	0.5%	0	0	0	1
回答者計	219	100%	22	63	14	30
無回答	4	—	0	1	0	3
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

問 21 主にケアしている方は、(対象の) お子さま以外の、乳幼児、高齢者、病  
気・障害のある人のケアをしていますか。

【回答者数 220 人】



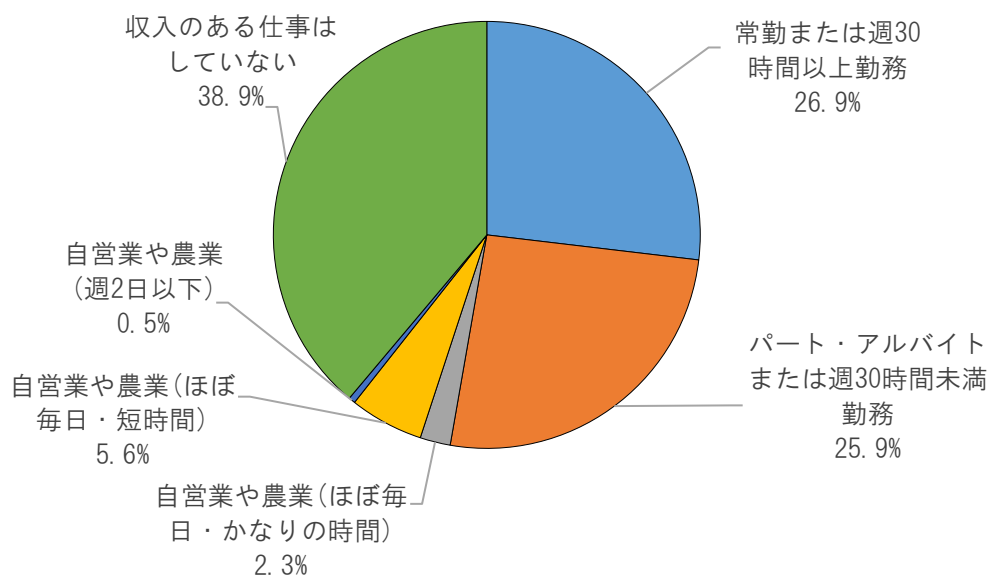
【障害別回答者数 (参考)】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
している	65	29.5%	5	18	5	12
していない	155	70.5%	17	45	9	19
回答者計	220	100%	22	63	14	31
無回答	3	—	0	1	0	2
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

問 22 主にケアしている方は、現在、収入のある仕事をしていますか。

【回答者数 216 人】



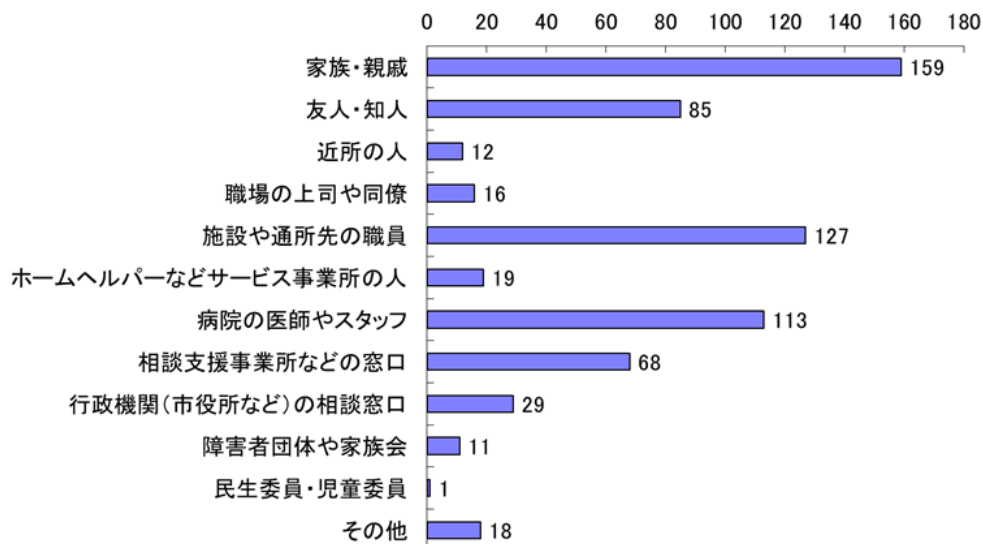
【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
常勤または週30時間以上勤務	58	26.9%	3	18	3	13
パート・アルバイトまたは週30時間未満勤務	56	25.9%	3	14	4	10
自営業や農業(ほぼ毎日・かなりの時間)	5	2.3%	0	2	0	0
自営業や農業(ほぼ毎日・短時間)	12	5.6%	2	1	0	2
自営業や農業(週2日以下)	1	0.5%	0	0	0	0
収入のある仕事はしていない	84	38.9%	13	27	6	5
回答者計	216	100%	21	62	13	30
無回答	7	—	1	2	1	3
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

問 23 日常生活や障害のことで困ったときに、誰に相談していますか。(複数回答可)

【回答者数 220 人】



【障害別回答者数(参考)】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
家族・親戚	159	72.3%	14	48	9	22
友人・知人	85	38.6%	13	33	4	12
近所の人	12	5.5%	0	1	1	2
職場の上司や同僚	16	7.3%	0	5	1	4
施設や通所先の職員	127	57.7%	11	41	7	18
ホームヘルパーなどサービス事業所の人	19	8.6%	8	11	0	3
病院の医師やスタッフ	113	51.4%	16	37	10	14
相談支援事業所などの窓口	68	30.9%	4	21	2	12
行政機関(市役所など)の相談窓口	29	13.2%	1	5	4	6
障害者団体や家族会	11	5.0%	0	4	2	1
民生委員・児童委員	1	0.5%	0	0	0	0
その他	18	8.2%	3	5	2	1
無回答	3	—	0	1	0	2

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

※構成比の算出方法：(各項目の)人数/回答者数

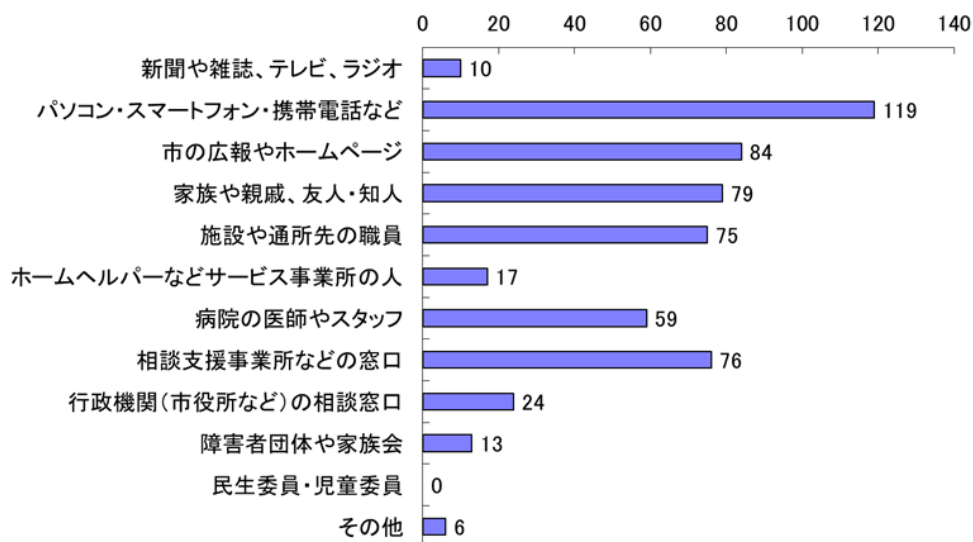


【その他回答の主な内容】

- 学校の先生    ○スクールカウンセラー    ○放課後等デイサービスのスタッフ
- 保育園の先生    ○同じ学校のママ友

問 24 福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(複数回答可)

【回答者数 217 人】



【障害別回答者数 (参考)】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
新聞や雑誌、テレビ、ラジオ	10	4.6%	0	3	1	0
パソコン・スマートフォン・携帯電話など	119	54.8%	13	31	9	13
市の広報やホームページ	84	38.7%	5	25	6	8
家族や親戚、友人・知人	79	36.4%	12	35	5	10
施設や通所先の職員	75	34.6%	5	25	2	10
ホームヘルパーなどサービス事業所の人	17	7.8%	7	9	0	4
病院の医師やスタッフ	59	27.2%	6	10	3	8
相談支援事業所などの窓口	76	35.0%	5	23	4	13
行政機関(市役所など)の相談窓口	24	11.1%	1	3	2	3
障害者団体や家族会	13	6.0%	1	6	2	1
民生委員・児童委員	0	0.0%	0	0	0	0
その他	6	2.8%	0	1	0	0
無回答	6	—	0	2	1	3

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

※構成比の算出方法：(各項目の)人数/回答者数

【その他回答の主な内容】

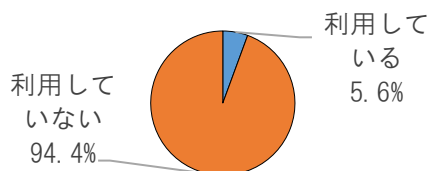
○学校の先生    ○スクールカウンセラー



VI 福祉サービス等の利用について

問 25 お子さまは、①～⑫のサービスや事業を現在利用していますか。また、それぞれのサービスや事業に関して、今後3年以内の利用希望についてあてはまる番号に○をつけてください。

① 居宅介護（現在） 【回答者数 215人】

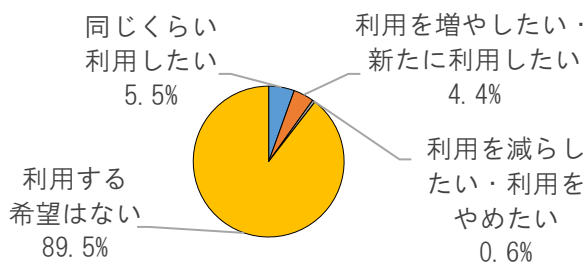


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
利用している	12	5.6%	11	7	0	1
利用していない	203	94.4%	11	55	12	31
回答者計	215	100%	22	62	12	32
無回答	8	—	0	2	2	1
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

居宅介護（今後） 【回答者数 181人】

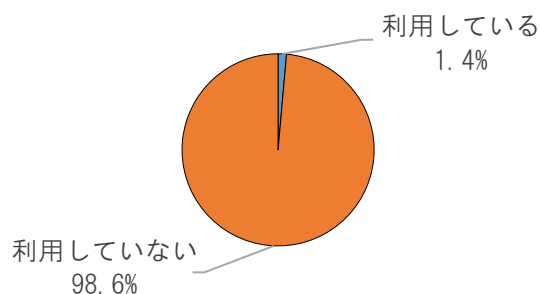


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
同じくらい利用したい	10	5.5%	9	7	0	1
利用を増やしたい・新たに利用したい	8	4.4%	3	4	0	1
利用を減らしたい・利用をやめたい	1	0.6%	1	0	0	0
利用する希望はない	162	89.5%	8	44	8	23
回答者計	181	100%	21	55	8	25
無回答	42	—	1	9	6	8
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

② 行動援護（現在） 【回答者数 215人】

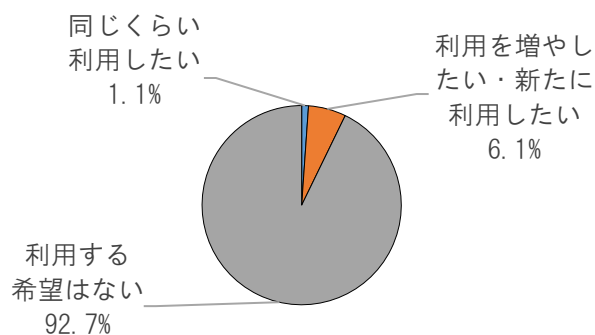


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
利用している	3	1.4%	0	2	0	1
利用していない	212	98.6%	22	60	12	31
回答者計	215	100%	22	62	12	32
無回答	8	—	0	2	2	1
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

行動援護（今後） 【回答者数 179人】

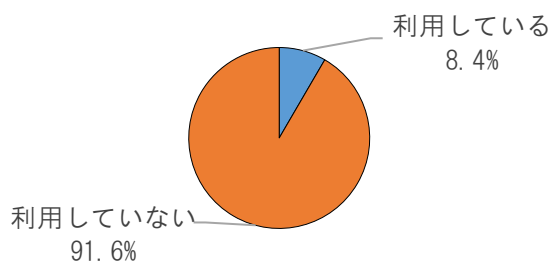


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
同じくらい利用したい	2	1.1%	0	1	0	1
利用を増やしたい・新たに利用したい	11	6.1%	1	11	0	1
利用を減らしたい・利用をやめたい	0	0.0%	0	0	0	0
利用する希望はない	166	92.7%	19	42	7	23
回答者計	179	100%	20	54	7	25
無回答	44	—	2	10	7	8
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

③ 短期入所（現在） 【回答者数 215人】

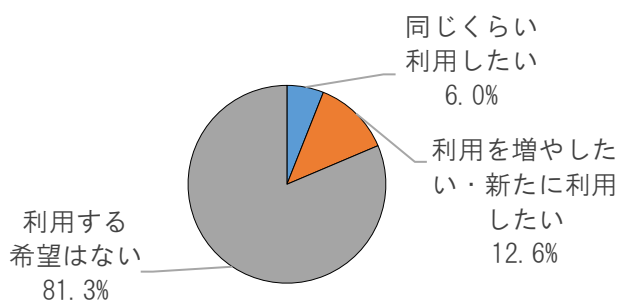


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
利用している	18	8.4%	8	12	0	2
利用していない	197	91.6%	14	50	12	29
回答者計	215	100%	22	62	12	31
無回答	8	—	0	2	2	2
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

短期入所（今後） 【回答者数 182人】

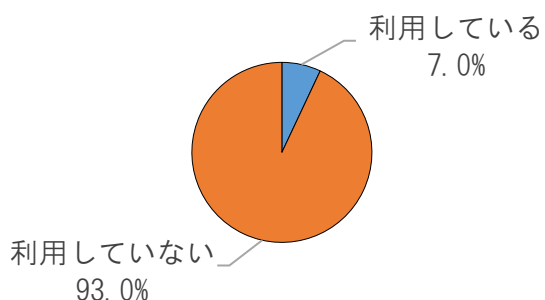


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
同じくらい利用したい	11	6.0%	5	7	0	2
利用を増やしたい・新たに利用したい	23	12.6%	7	17	0	3
利用を減らしたい・利用をやめたい	0	0.0%	0	0	0	0
利用する希望はない	148	81.3%	8	32	7	21
回答者計	182	100%	20	56	7	26
無回答	41	—	2	8	7	7
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

## ④ 移動支援事業（現在） 【回答者数 213人】

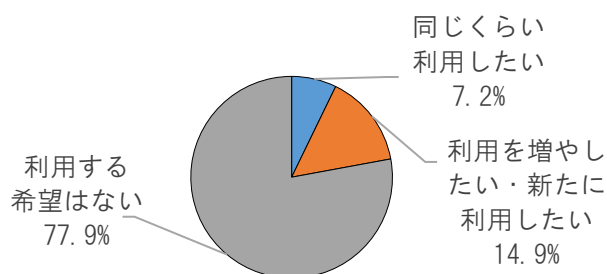


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
利用している	15	7.0%	7	9	1	1
利用していない	198	93.0%	15	51	11	30
回答者計	213	100%	22	60	12	31
無回答	10	—	0	4	2	2
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

## 移動支援事業（今後） 【回答者数 181人】

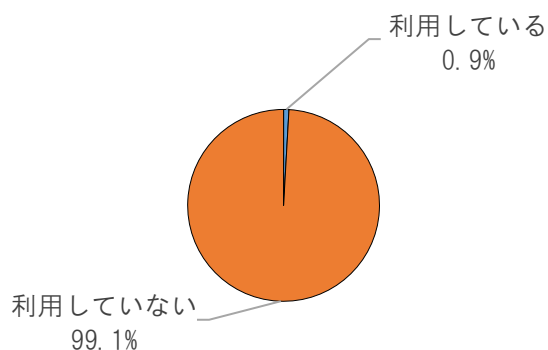


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
同じくらい利用したい	13	7.2%	7	7	1	1
利用を増やしたい・新たに利用したい	27	14.9%	4	23	1	4
利用を減らしたい・利用をやめたい	0	0.0%	0	0	0	0
利用する希望はない	141	77.9%	10	27	4	21
回答者計	181	100%	21	57	6	26
無回答	42	—	1	7	8	7
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

⑤ 在宅心身障害者（児）等緊急一時保護事業（現在） 【回答者数 214人】

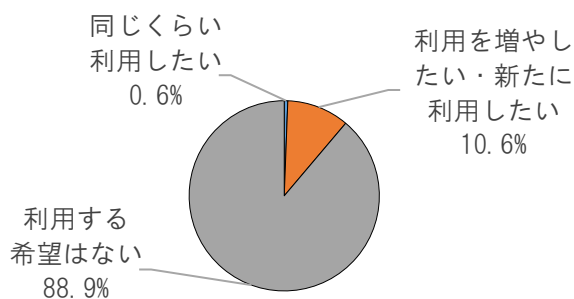


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
利用している	2	0.9%	0	1	0	1
利用していない	212	99.1%	22	60	12	30
回答者計	214	100%	22	61	12	31
無回答	9	—	0	3	2	2
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

在宅心身障害者（児）等緊急一時保護事業（今後） 【回答者数 180人】



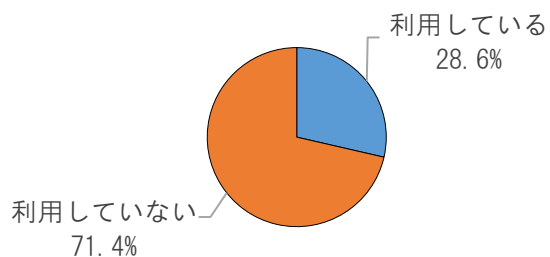
【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
同じくらい利用したい	1	0.6%	0	0	0	1
利用を増やしたい・新たに利用したい	19	10.6%	6	14	1	4
利用を減らしたい・利用をやめたい	0	0.0%	0	0	0	0
利用する希望はない	160	88.9%	14	41	6	21
回答者計	180	100%	20	55	7	26
無回答	43	—	2	9	7	7
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。



⑥ 児童発達支援（現在） 【回答者数 213人】

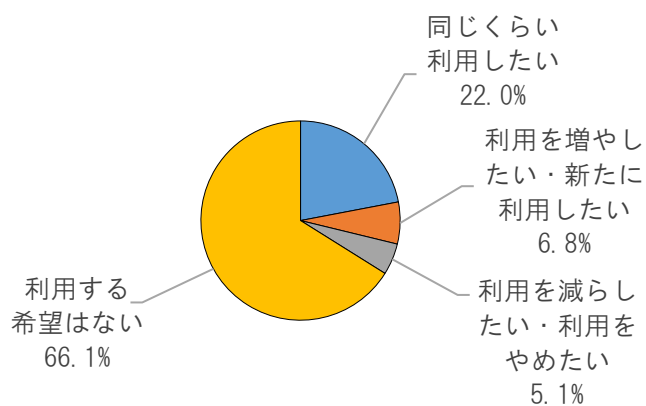


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
利用している	61	28.6%	4	8	1	11
利用していない	152	71.4%	17	54	11	20
回答者計	213	100%	21	62	12	31
無回答	10	—	1	2	2	2
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

児童発達支援（今後） 【回答者数 177人】

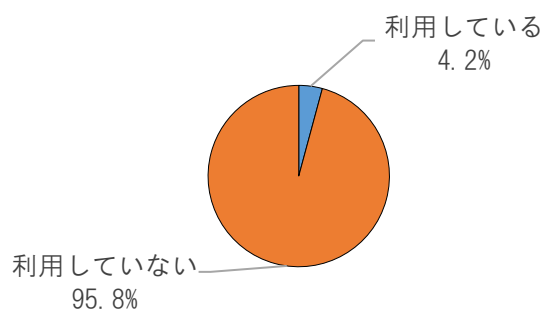


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
同じくらい利用したい	39	22.0%	2	7	0	6
利用を増やしたい・新たに利用したい	12	6.8%	2	0	1	1
利用を減らしたい・利用をやめたい	9	5.1%	0	0	0	2
利用する希望はない	117	66.1%	15	44	6	14
回答者計	177	100%	19	51	7	23
無回答	46	—	3	13	7	10
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

⑦ 医療型児童発達支援（現在） 【回答者数 213人】

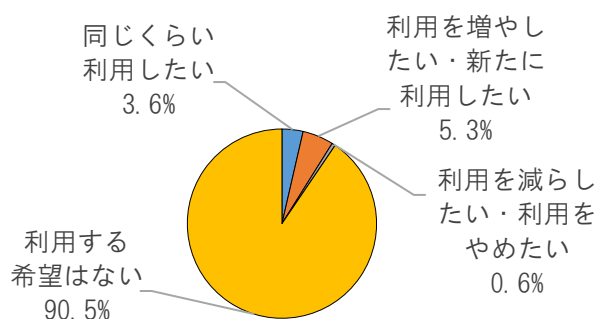


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
利用している	9	4.2%	3	3	0	1
利用していない	204	95.8%	18	59	12	29
回答者計	213	100%	21	62	12	30
無回答	10	—	1	2	2	3
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

医療型児童発達支援（今後） 【回答者数 169人】

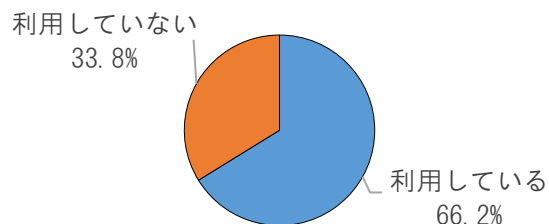


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
同じくらい利用したい	6	3.6%	2	2	0	1
利用を増やしたい・新たに利用したい	9	5.3%	2	1	0	2
利用を減らしたい・利用をやめたい	1	0.6%	0	0	0	0
利用する希望はない	153	90.5%	15	47	7	20
回答者計	169	100%	19	50	7	23
無回答	54	—	3	14	7	10
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

⑧ 放課後等デイサービス（現在） 【回答者数 222人】

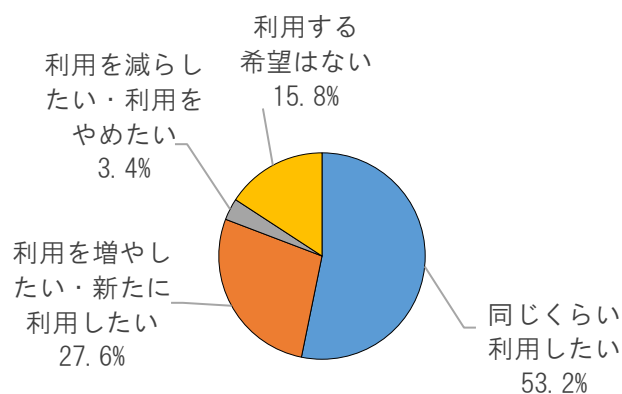


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
利用している	147	66.2%	15	56	13	23
利用していない	75	33.8%	7	8	1	9
回答者計	222	100%	22	64	14	32
無回答	1	—	0	0	0	1
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

放課後等デイサービス（今後） 【回答者数 203人】



【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
同じくらい利用したい	108	53.2%	10	41	9	17
利用を増やしたい・新たに利用したい	56	27.6%	9	17	0	7
利用を減らしたい・利用をやめたい	7	3.4%	0	1	0	1
利用する希望はない	32	15.8%	2	1	1	5
回答者計	203	100%	21	60	10	30
無回答	20	—	1	4	4	3
合計	223	—	22	64	14	33

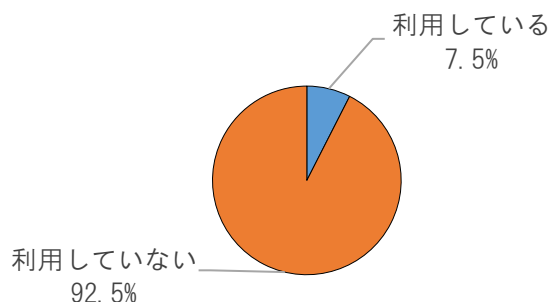
※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

《参考》 放課後等デイサービス（今後）－学齢（年齢区分）の状況

選択項目	未就学		小学校		中学校		高等学校	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
同じくらい利用したい	4	8.0%	69	62.7%	25	83.3%	9	75.0%
利用を増やしたい・新たに利用したい	27	54.0%	26	23.6%	1	3.3%	2	16.7%
利用を減らしたい・利用をやめたい	0	0.0%	4	3.6%	3	10.0%	0	0.0%
利用する希望はない	19	38.0%	11	10.0%	1	3.3%	1	8.3%
回答者計	50	100%	110	100%	30	100%	12	100%
無回答	5	—	8	—	5	—	2	—
合計	55	—	118	—	35	—	14	—

※年齢が不明な方がいるため、選択項目ごとの、人数の合計と全体の人数は異なる場合があります。

## ⑨ 保育所等訪問支援（現在） 【回答者数 214人】

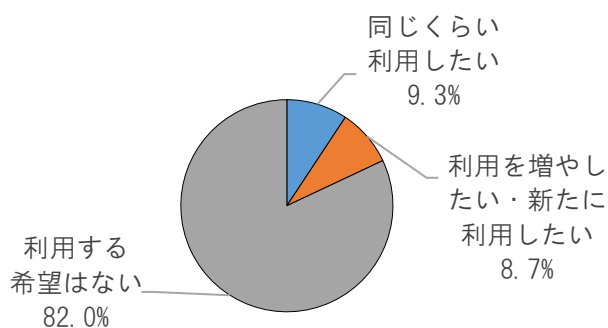


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
利用している	16	7.5%	0	3	2	4
利用していない	198	92.5%	21	59	10	27
回答者計	214	100%	21	62	12	31
無回答	9	—	1	2	2	2
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

## 保育所等訪問支援（今後） 【回答者数 172人】

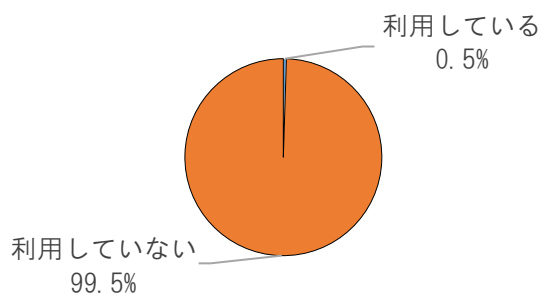


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
同じくらい利用したい	16	9.3%	0	2	1	4
利用を増やしたい・新たに利用したい	15	8.7%	1	4	1	2
利用を減らしたい・利用をやめたい	0	0.0%	0	0	0	0
利用する希望はない	141	82.0%	18	45	6	19
回答者計	172	100%	19	51	8	25
無回答	51	—	3	13	6	8
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

⑩ 居宅訪問型児童発達支援（現在） 【回答者数 214人】

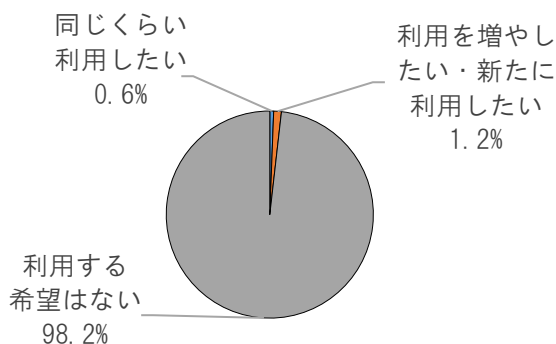


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
利用している	1	0.5%	1	0	0	0
利用していない	213	99.5%	20	62	12	31
回答者計	214	100%	21	62	12	31
無回答	9	—	1	2	2	2
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

居宅訪問型児童発達支援（今後） 【回答者数 166人】

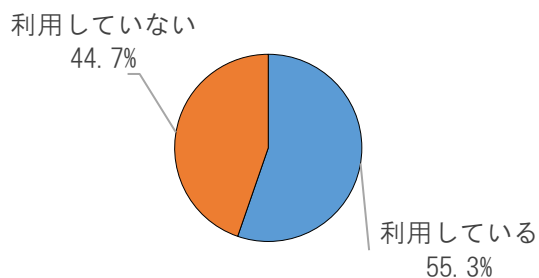


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
同じくらい利用したい	1	0.6%	1	0	0	0
利用を増やしたい・新たに利用したい	2	1.2%	2	0	0	0
利用を減らしたい・利用をやめたい	0	0.0%	0	0	0	0
利用する希望はない	163	98.2%	16	49	6	23
回答者計	166	100%	19	49	6	23
無回答	57	—	3	15	8	10
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

⑪ 障害児相談支援（現在） 【回答者数 215人】

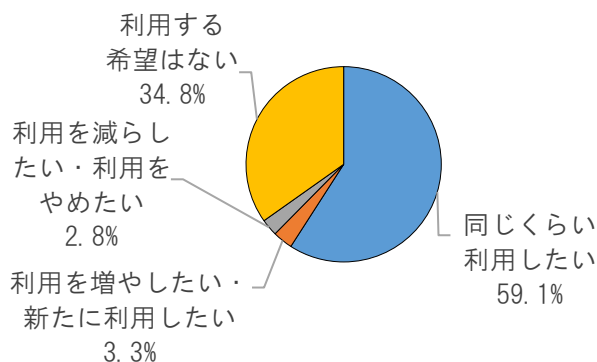


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
利用している	119	55.3%	15	45	10	15
利用していない	96	44.7%	6	17	3	16
回答者計	215	100%	21	62	13	31
無回答	8	—	1	2	1	2
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

障害児相談支援（今後） 【回答者数 181人】

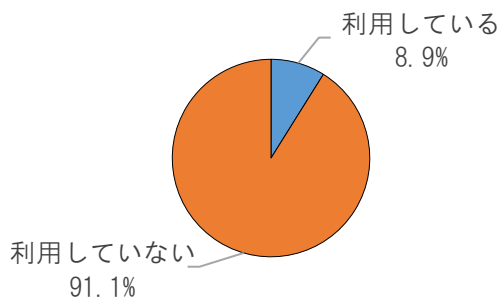


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
同じくらい利用したい	107	59.1%	14	41	7	12
利用を増やしたい・新たに利用したい	6	3.3%	0	2	1	1
利用を減らしたい・利用をやめたい	5	2.8%	1	2	0	1
利用する希望はない	63	34.8%	4	10	0	11
回答者計	181	100%	19	55	8	25
無回答	42	—	3	9	6	8
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

⑫ 放課後児童健全育成事業（学童保育）（現在） 【回答者数 214人】

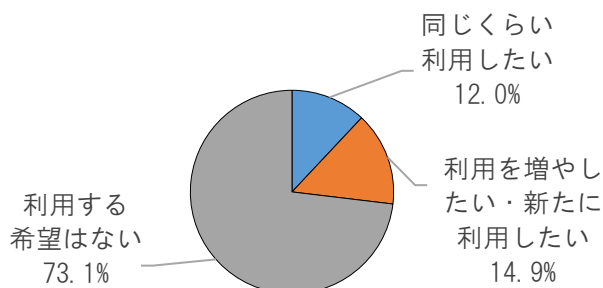


【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
利用している	19	8.9%	2	2	2	5
利用していない	195	91.1%	20	60	10	26
回答者計	214	100%	22	62	12	31
無回答	9	—	0	2	2	2
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

放課後児童健全育成事業（学童保育）（今後） 【回答者数 175人】



【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
同じくらい利用したい	21	12.0%	2	2	1	4
利用を増やしたい・新たに利用したい	26	14.9%	2	5	0	5
利用を減らしたい・利用をやめたい	0	0.0%	0	0	0	0
利用する希望はない	128	73.1%	15	47	6	15
回答者計	175	100%	19	54	7	24
無回答	48	—	3	10	7	9
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。



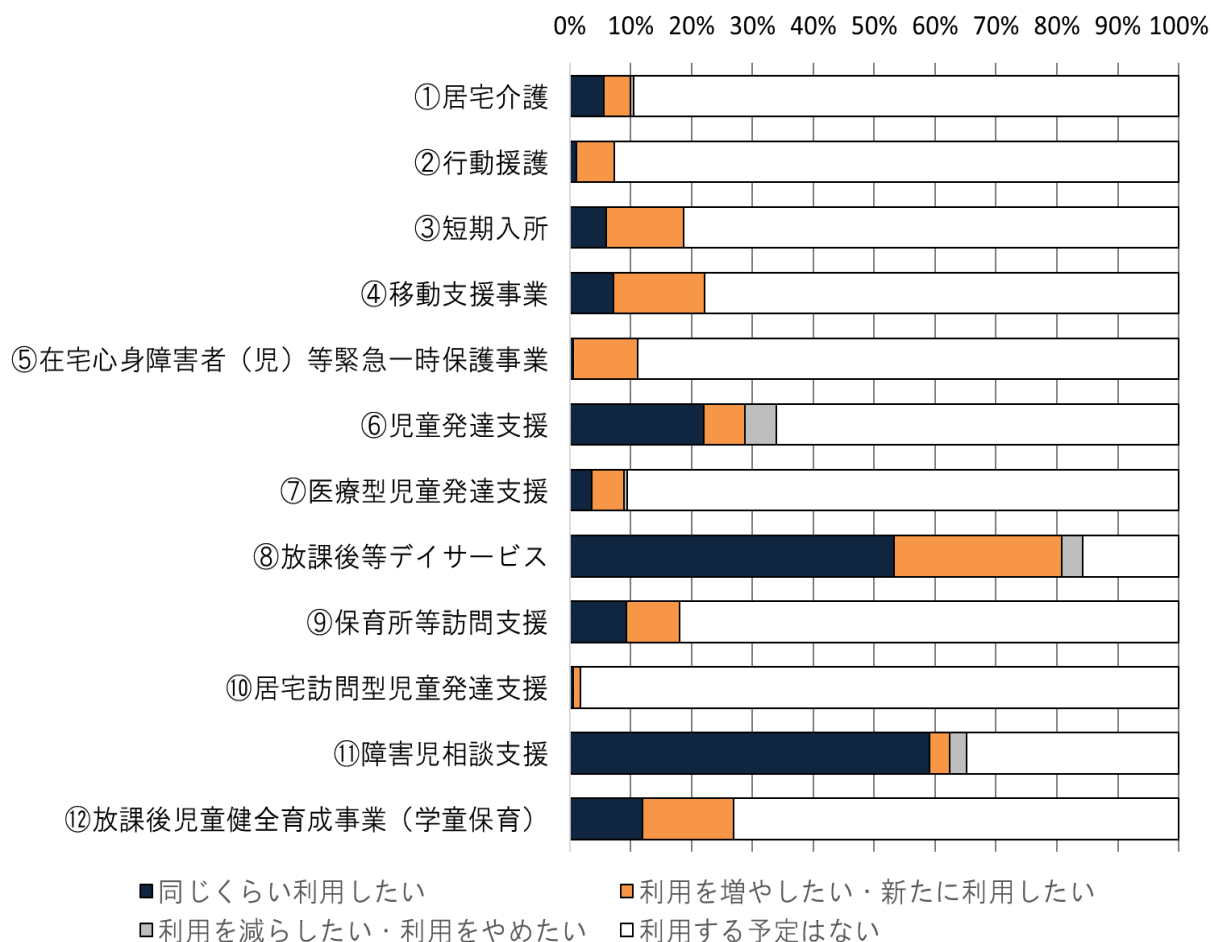
## 《参考》

## 放課後児童健全育成事業（学童保育）（今後）一学齢（年齢区分）の状況

選択項目	未就学		小学校		中学校		高等学校	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
同じくらい利用したい	3	6.3%	17	18.9%	1	3.7%	0	0.0%
利用を増やしたい・新たに利用したい	16	33.3%	10	11.1%	0	0.0%	0	0.0%
利用を減らしたい・利用をやめたい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
利用する希望はない	29	60.4%	63	70.0%	26	96.3%	9	100.0%
回答者計	48	100%	90	100%	27	100%	9	100%
無回答	7	—	28	—	8	—	5	—
合計	55	—	118	—	35	—	14	—

※年齢が不明な方がいるため、選択項目ごとの、人数の合計と全体の人数は異なる場合があります。

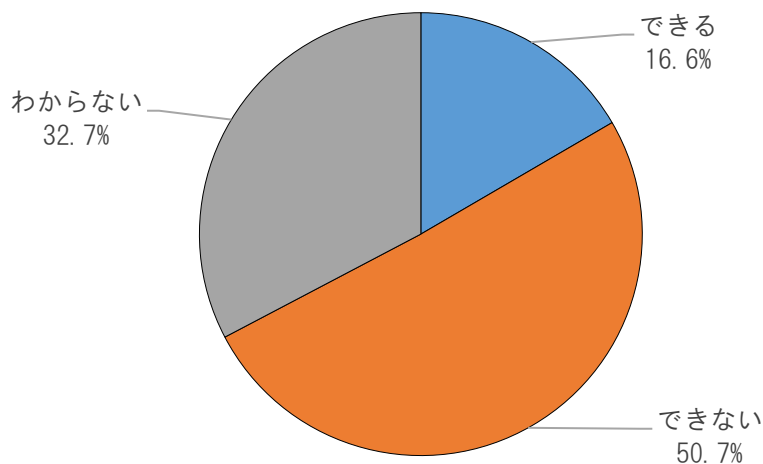
《参考》 福祉サービス等の利用（今後の予定）積み上げグラフ



Ⅶ 災害時の対策、緊急時の対応などについて

問 26 お子さまは、火事や地震などの災害時にひとりで避難できますか。

【回答者数 223 人】



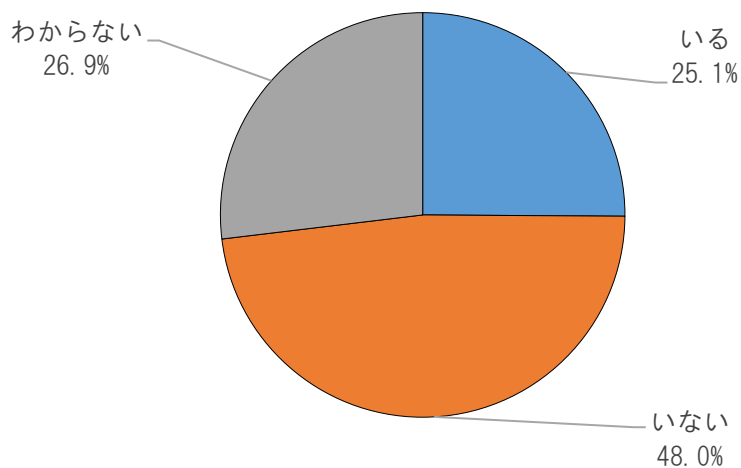
【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
できる	37	16.6%	3	4	5	12
できない	113	50.7%	17	46	5	10
わからない	73	32.7%	2	14	4	11
回答者計	223	100%	22	64	14	33
無回答	0	—	0	0	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

問 27 家族が不在の場合、近所にお子さまを助けてくれる人はいますか。

【回答者数 223 人】



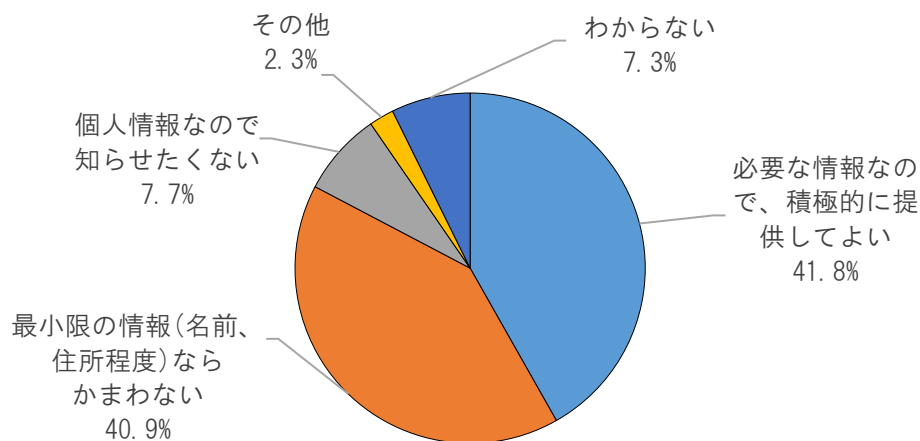
【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
いる	56	25.1%	4	10	6	15
いない	107	48.0%	15	35	5	13
わからない	60	26.9%	3	19	3	5
回答者計	223	100%	22	64	14	33
無回答	0	—	0	0	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

問 28 災害時に行政や地域などから支援を受けるため、あらかじめ個人情報（氏名、住所、生年月日、連絡先、障害の状況など）を市に提供すること（避難行動要支援者名簿への掲載）について、どう思いますか。

【回答者数 220 人】



【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
必要の情報なので、積極的に提供してよい	92	41.8%	14	37	6	13
最小限の情報(名前、住所程度)ならかまわない	90	40.9%	6	20	7	15
個人情報なので知らせたくない	17	7.7%	1	1	0	3
その他	5	2.3%	0	2	0	0
わからない	16	7.3%	1	3	1	2
回答者計	220	100%	22	63	14	33
無回答	3	—	0	1	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

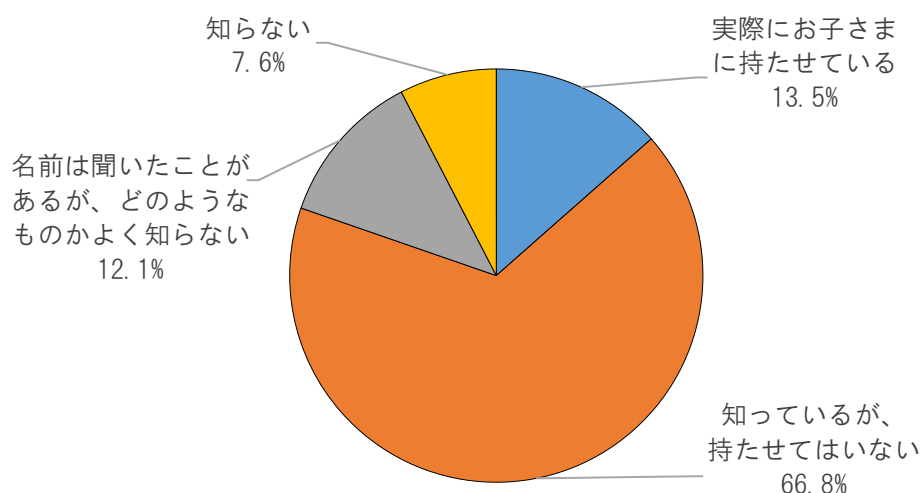
※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

【その他回答の主な内容】

- 事前にどこまで何をどこに知らせるか個々に打ち合わせていけば OK
- どのような支援があり実際に市が履行できるのか、その情報が不足しているので回答できない
- 常に話はしているのでなんとかなると思う
- 相談の上、考えたい

問 29 立川市で、「ヘルプマーク」（義足や人工関節、内部障害、難病、妊娠初期の方など、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるマーク）を配布していることを知っていますか。

【回答者数 223 人】



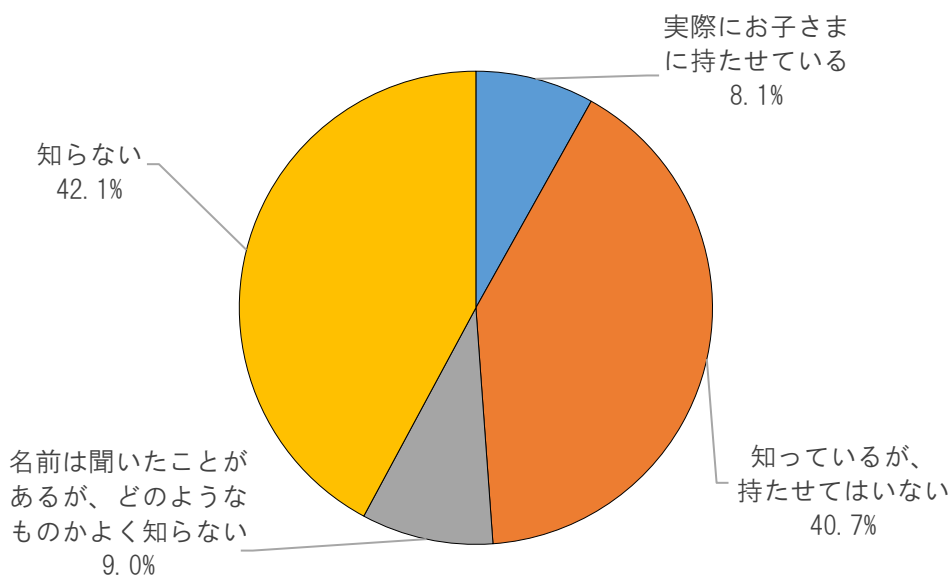
【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
実際にお子さまに持たせている	30	13.5%	5	24	2	1
知っているが、持たせてはいない	149	66.8%	15	38	11	28
名前を聞いたことがあるが、どのようなものかよく知らない	27	12.1%	0	2	1	2
知らない	17	7.6%	2	0	0	2
回答者計	223	100%	22	64	14	33
無回答	0	—	0	0	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

問 30 立川市で、「ヘルプカード」（障害や疾病のある方が普段から身につけておき、災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲の人に説明し支援をお願いするカード）を配布していることを知っていますか。

【回答者数 221 人】



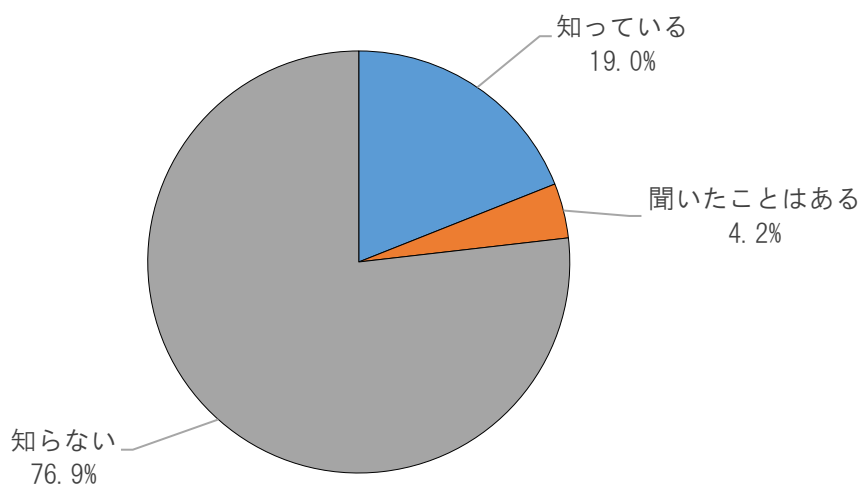
【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
実際にお子さまに持たせている	18	8.1%	1	15	0	1
知っているが、持たせてはいない	90	40.7%	11	32	8	17
名前は聞いたことがあるが、どのようなものかよく知らない	20	9.0%	1	5	1	3
知らない	93	42.1%	8	11	4	11
回答者計	221	100%	21	63	13	32
無回答	2	—	1	1	1	1
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

問 31 立川市で、「オ・ト・モ・ダ・チ・カード」(ヘルプカードをつけている方が困っている時に、支援に協力をしていただける方が身につけるストラップ)を配布していることを知っていますか。

【回答者数 216 人】



【障害別回答者数 (参考)】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
知っている	41	19.0%	3	21	4	3
聞いたことはある	9	4.2%	2	3	0	1
知らない	166	76.9%	17	36	8	26
回答者計	216	100%	22	60	12	30
無回答	7	—	0	4	2	3
合計	223	—	22	64	14	33

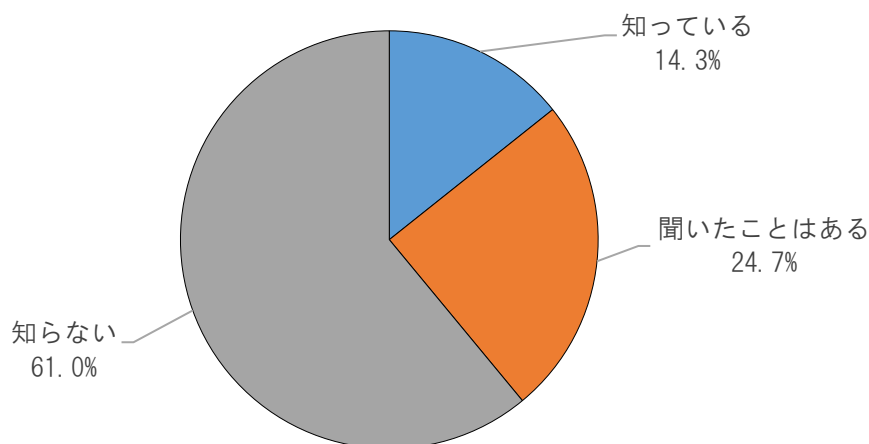
※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。



## VIII 差別や権利擁護のことについて

問 32 平成 30 (2018) 年 4 月から、「立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」が施行されています。この条例のことを知っていますか。

【回答者数 223 人】



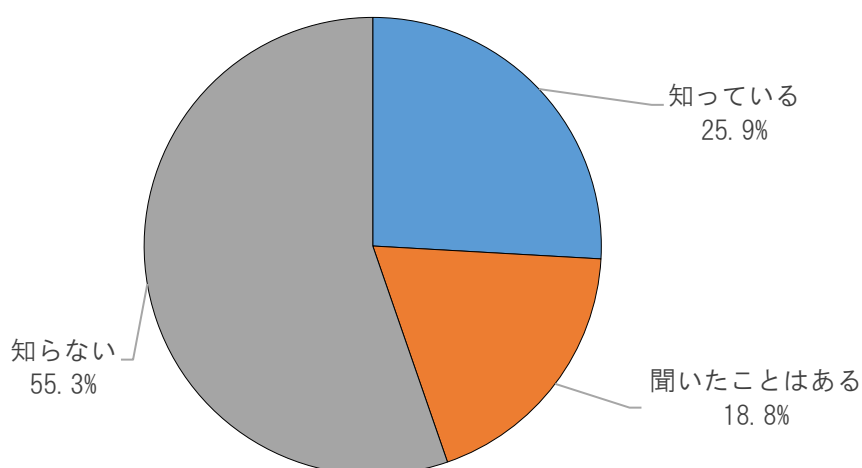
【障害別回答者数 (参考)】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
知っている	32	14.3%	5	15	3	6
聞いたことはある	55	24.7%	7	19	4	4
知らない	136	61.0%	10	30	7	23
回答者計	223	100%	22	64	14	33
無回答	0	—	0	0	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

問 33 <問 32 で「1. 知っている」「2. 聞いたことはある」を選択した方>令和 4（2022）年 12 月に事業者による合理的配慮の提供を義務付ける等の条例改正がありました（令和 5（2023）年 4 月 1 日施行）。この条例改正のことを知っていますか。

【回答者数 85 人】



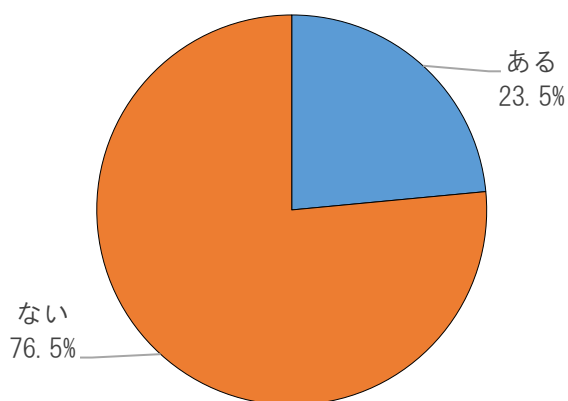
【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
知っている	22	25.9%	3	9	2	4
聞いたことはある	16	18.8%	4	8	3	3
知らない	47	55.3%	5	15	2	2
回答者計	85	100%	12	32	7	9
無回答	2	—	0	2	0	1
合計	87	—	12	34	7	10

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

問 34 あなたやお子さまは、この1年間で障害を理由とした差別をされたと思  
ったことがありますか。

【回答者数 217人】



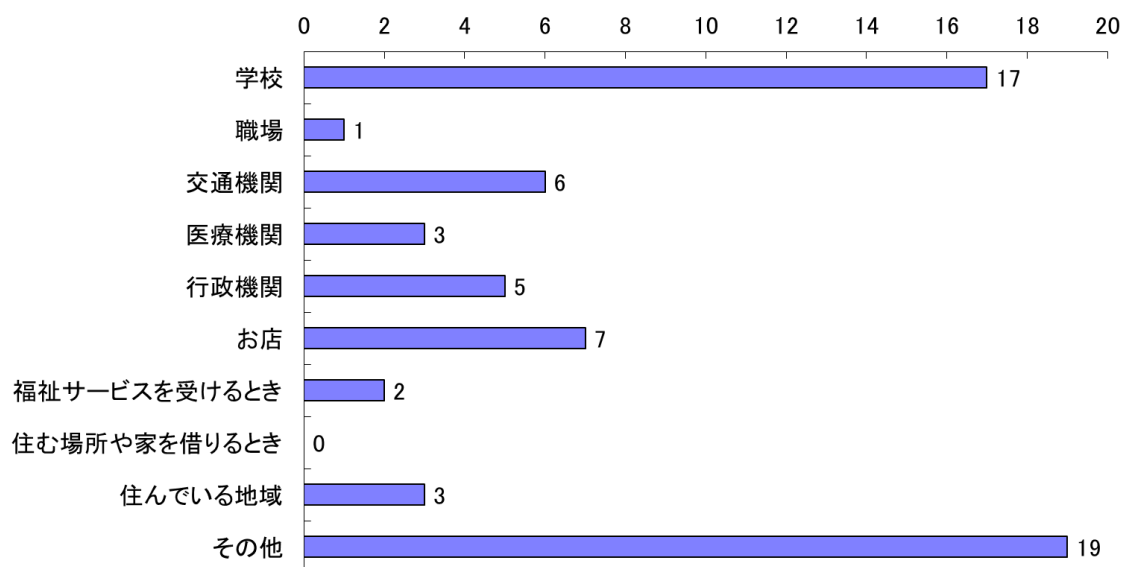
【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
ある	51	23.5%	7	18	2	7
ない	166	76.5%	14	43	12	25
回答者計	217	100%	21	61	14	32
無回答	6	—	1	3	0	1
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

問 35 <問 34 で「1. ある」を選択した方>差別をされた（他の人とは違う扱いをされた）と思ったのはどんな場所や場面でしたか。（複数回答可）

【回答者数 49 人】



【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
学校	17	34.7%	0	5	0	2
職場	1	2.0%	0	0	0	1
交通機関	6	12.2%	1	3	0	0
医療機関	3	6.1%	1	2	0	0
行政機関	5	10.2%	2	1	0	0
お店	7	14.3%	0	4	1	1
福祉サービスを受けるとき	2	4.1%	1	0	0	0
住む場所や家を借りるとき	0	0.0%	0	0	0	0
住んでいる地域	3	6.1%	0	1	0	0
その他	19	38.8%	2	6	1	3
無回答	2	—	1	1	0	0

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

※構成比の算出方法：（各項目の）人数／回答者数

【その他回答の主な内容】

○入所施設 ○幼稚園 ○保育園 ○学習塾 ○学童保育所 ○放課後等デイサービス

### 問 35 自由記入欄 差別をされたと思ったのはどんなことでしたか。

※一部、ひらがな表記等を読みやすいように改めています。

- 補聴器を理由にプールの利用をしづらされた。(見学をすすめられた)。プールの際の保護者の見学を断られた。プールの後にドライヤーの使用を断られた。(6歳、男性、身体、母親)
- 習い事で、お友達からの言葉。(11歳、男性、知的/発達、母親)
- 特性を伝えると断られた。(15歳、男性、知的/精神/発達、母親)
- 先生の人数が1人なので仕方ないですが、おとなしく指示を聞けないと難しい、と園の習い事を断られた(体育教室)。今年のグループ活動が、やはり座って先生の指示を聞ける子でないと難しいと断られた。園のお友達は個別でする活動に誘われたようで未来センターに通っていますがうちは特になく、通常級へ行けそうな子しか無理なのかと思いました。(6歳、男性、発達、母親)
- 声を出してしまった時「頭おかしいの?」と言われた。(15歳、男性、知的/発達、母親)
- 保育園の相談に行ったが、医療的ケアを理由にこの市では見ることができないと言われた。「医療的ケアをしている親は働けないと言うことか」と問うたところ、「はい」と市役所の担当の方から言われた。(1歳、男性、身体、母親)
- 担当に伝えても他の職員に伝わっていない。伝わっていても障害に対して理解しておらず合理的配慮がうけられないなど。(10歳、男性、発達、母親)
- お泊り保育に参加させてもらえなかった。(12歳、男性、精神/発達、母親)
- 学校でトラブル発生時、先生から「まだ小さいのでお互いの主張が食い違っているのですが…相手の親御さんに保護者会であやまっておいてください」と事実確認をサボってうちのせいにされた。うちの子だけ放課後遊びに誘われぬ。ダメといわれている。(8歳、男性、発達/強度、母親)
- お店で息子が、かんしゃくをおこしそうになった時に、「この子やばいんですけど、どうかしてください」と店員に白い目で嫌な言動をあびせられた。(4歳、男性、精神/発達、母親)
- イベントに参加申し込みをした際、障害について記載し、それでも内容的に参加できると親は思う旨お伝えしたが、断られた。(10歳、女性、知的、母親)
- 体育の授業でルール説明を勘違いしてしまい競技をしたところ、他クラスの生徒から「障害者かよ」と言われ、その場にいた生徒に笑われた。英語のスピーキングテストで吃音により答えることができずに時間切れとなった。(14歳、男性、精神/発達、父親)
- 保育園・幼稚園で看護師を常駐できないからと断られたことがあります。(4歳、女性、身体/知的/発達/高次脳、母親)
- いじめ(10歳、女性、発達、母親)
- 転園するように言われた。現場の先生は努力して下さったが、管理者の言い方が理解なくとも辛い思いをした。(3歳、男性、発達、母親)

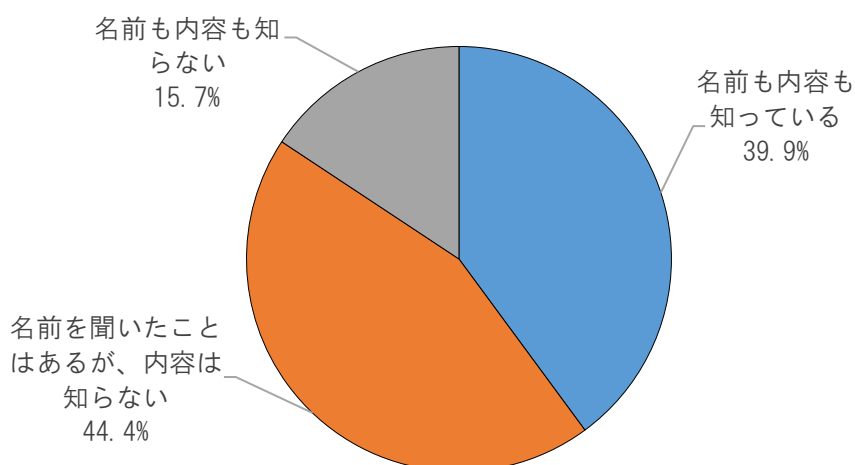
## VIII 差別や権利擁護のことについて

- 「バカ、障害者、お前発達障害なの」等、特性のため上手く出来ないことがある場合、嫌な発言をされ、落ち込んでいる息子を見る度、悲しい気分になります。上手く出来ない事は、本人が一番自覚しているにもかかわらず、わざと傷つける発言で自己肯定感が低くなります。(14歳、男性、発達、母親)
- 教師からの体罰(校長先生から知らされた)。眼科(市内クリニック)医に「こんな子はみられない」と怒鳴られ、追い出された。「しっかり言い聞かせろ」と私も怒られた。歩道を歩いていた時に、動きが変で手がぶつかったので障害のことを話し謝ったが「その子は仕方ないけど、外にそんな子を出す親が悪い」と怒られた。(17歳、男性、知的/発達/強度、母親)
- 他の子と一緒に遊ばせてもらえない(別室に先生と二人きり)。週に3回怪我をして帰ってくることもあり、3回目はそれまでの2回よりもさらに酷い怪我(顔面挫創、鼻部5cm)をしてきたため、何らかの対策をとってほしい。せめて1~2週間だけでも怪我が起こらないよう、怪我が続いた今だけでも力を傾けてほしいと園にお伝えしたところ、他の子のいる前で今後はクラス担当がずっとうちの子供をみると話されたようで、同じクラスの子からその話を聞いたとき、非常に残念に思いました。肝心のうちの子の両親にはそのような話はされず、周りの子にそんな話を言いふらすのは、当てつけとしか思えず信頼は失せました。(3歳、男性、発達、母親)
- 差別と言うほどではないが、校長先生とは根底にある価値観などが合わないところがある。(7歳、男性、発達、父親)
- 保育園を探していた時、長男(定型発達)が通園していた認可保育園に入所可能か問い合わせたところ、ダウン症を理由にドリーム学園をすすめられた。(2歳、女性、知的、母親)
- 病状が重いことで受け入れてもらえない。(16歳、男性、身体、母親)
- 就学相談で就学先の決めつけをされた。医師による診断書の内容だけで子供を評価している。(6歳、男性、発達、母親)
- 視線が痛かったです…仕方ないかもしれませんが。(5歳、男性、知的/発達、母親)
- 乗車拒否・他の客よりの文句。(9歳、男性、身体、母親)
- 学習障害に関する学校の先生の知識の無さによる発言。(9歳、男性、発達、母親)
- 事前に障害のことは説明していたのに手がかかることを理由に入園を断られた。(3歳、女性、発達、母親)
- 障害児がいる事で仕事に来ないでほしいと言われた。(9歳、男性、精神、母親)
- イジメにあっていた。(7歳、男性、発達、母親)
- 動きが大きかったり感情のコントロールが年齢より出来ないのでは、見られたりすることがあった。(11歳、女性、発達、母親)
- ADHD だからと言われバカにされ口の中で噛んでいたミレーちゃんのビスケットを公園の水たまりに吐き出してしまった。(12歳、女性、発達、本人)
- 「いつも注意するのに出来ない。このままでは学校に報告しますよ。」と言われた。発達障害があって、出来ないのと思った。(6歳、男性、発達、母親)

- 本人が出来ることも支援級だからと学習面や交流も制限されることがある。交流学习では、親の付添などが前提となっているが、参加してみると通常級の子でも出来ていない事が多々あり、参加するハードルをむやみに上げられているように感じる。加配枠があまりに少なく、希望する学童に入所希望すら出せなかった。サポートが必要にも関わらず定型児よりも学童に入りづらいなど、矛盾している。同じように扱うか、希望する放課後等デイサービスには入れるなど環境を早急に改善して下さい。(7歳、女性、知的/発達、母親)
- 兄弟で受給者証を取得しているが、家庭では児童発達支援や放課後等デイサービスでの負担上限額が決まっているにも関わらず、一旦、2人分を支払ってから後日、調整して返金するとの説明を受けた。他市では、行政と各施設で連携して支払い上限額のみ毎月負担と言うところもあるのに、なぜ立川市ではこうした二度手間になっているのか疑問に思う。ただでさえ日常の負担が大きいのに、金銭面や手続き面で負荷をかけないでほしい。我が家では、振込手数料も余分にかかって困っています。(1歳、男性、母親)
- 小学校では、支援学級に在籍していましたが、中学に入学と同時に通常級に移りました。入学式当日、子供が支援学級に在籍していた情報が、他の生徒達の目にさらされており、最近その件で何かクラスメートから言われたらしく、落ち込んで帰ってきました。ほとんどのクラスメートは、うちの子供が支援級から移ってきた事に触れず、色々と協力してくれているようですが、今後も見守って行くつもりです。(12歳、女性、発達、母親)
- 帰りの会などに参加させてもらえず玄関付近にいさせられる。お迎えを早く来るように言われる(送迎をしてもらえない)。放課後等デイサービスでのみ荒れていたのに強度行動障害と言われる(その後、病院を受診し専門の医師より違う薬も必要ないと言われる)。放課後等デイサービスを変えたら落ち着いた。(7歳、女性、知的/発達、母親)
- 発達障害の診断を受けて薬の服用もしているため、コーチや同級生に説明をしたところ、”甘え”や”言い分け”のようにとらえられた。差別というより理解を得られないような雰囲気。特に男性。(9歳、男性、発達、母親)
- 嫌な言葉「はぁ」などを言われる。「うるさい」等、イライラした顔で接客されることも多い。医療機関では知らされず、障害と書かれていたことがある。(3歳、男性、発達/強度、母親)

問 36 成年後見制度は、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度を知っていますか。

【回答者数 223 人】



【障害別回答者数（参考）】

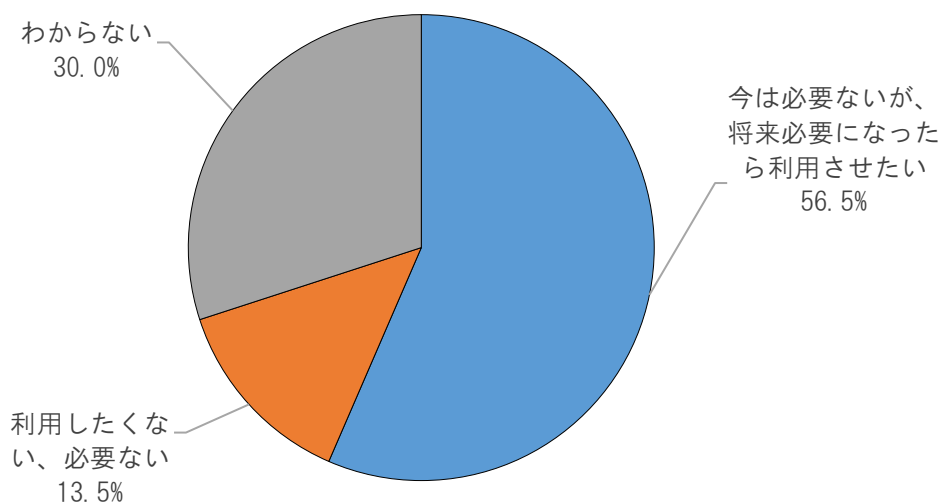
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
名前も内容も知っている	89	39.9%	8	34	4	15
名前を聞いたことはあるが、内容は知らない	99	44.4%	12	25	8	16
名前も内容も知らない	35	15.7%	2	5	2	2
回答者計	223	100%	22	64	14	33
無回答	0	—	0	0	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。



問 37 将来お子さまに、成年後見制度を利用させたいと思いますか。

【回答者数 223 人】



【障害別回答者数（参考）】

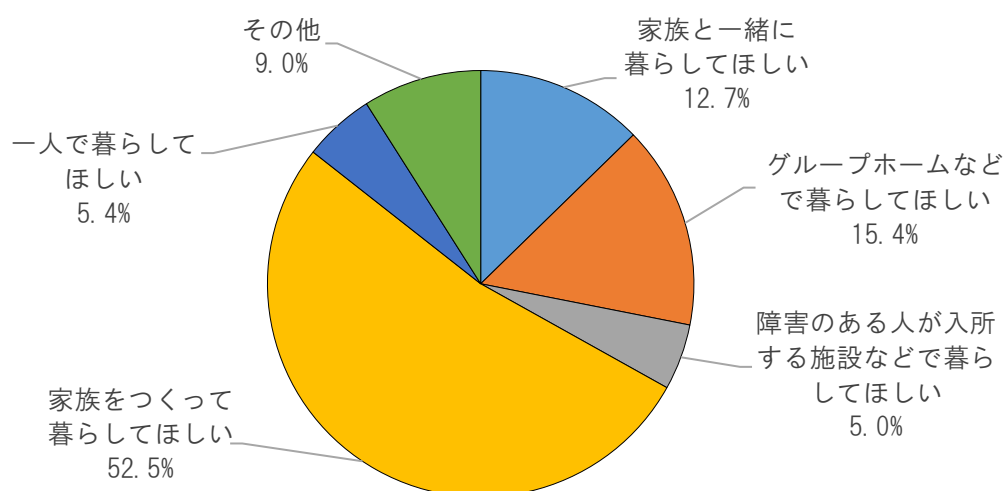
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
すでに利用している	0	0.0%	0	0	0	0
今は必要ないが、将来必要になったら利用させたい	126	56.5%	17	52	10	16
利用したくない、必要ない	30	13.5%	2	2	2	4
わからない	67	30.0%	3	10	2	13
回答者計	223	100%	22	64	14	33
無回答	0	—	0	0	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

## IX 将来の希望などについて

問 38 お子さまに、将来、どのような暮らしをしてほしいと考えていますか。

【回答者数 221 人】



【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
家族と一緒に暮らしてほしい	28	12.7%	5	7	5	3
グループホームなどで暮らしてほしい	34	15.4%	3	29	2	2
障害のある人が入所する施設などで暮らしてほしい	11	5.0%	7	9	1	1
家庭をつくって暮らしてほしい	116	52.5%	4	9	6	26
一人で暮らしてほしい	12	5.4%	2	3	0	0
その他	20	9.0%	0	6	0	1
回答者計	221	100%	21	63	14	33
無回答	2	—	1	1	0	0
合計	223	—	22	64	14	33

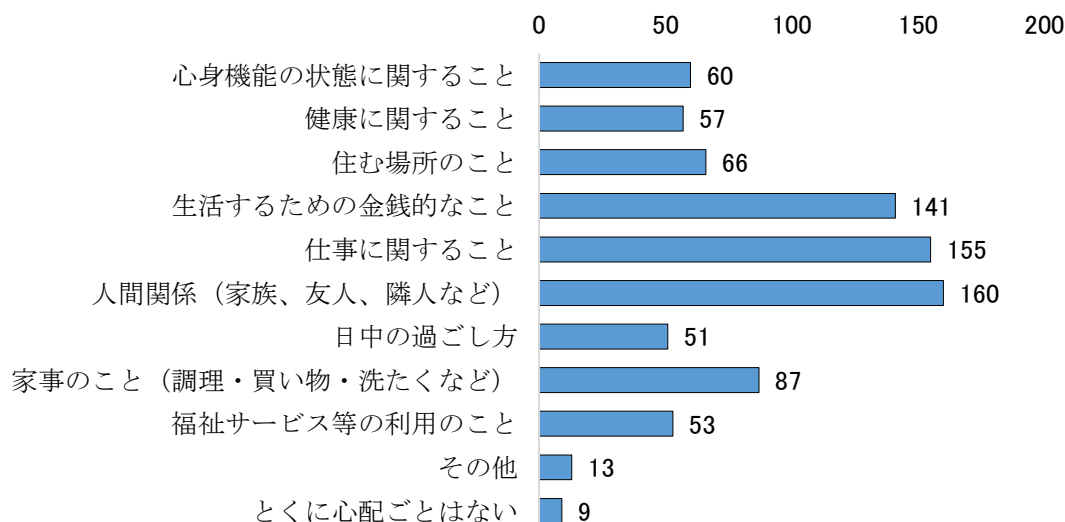
※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

【その他回答の主な内容】

- 自立していれば形にはこだわらない
- まだわからないが、親の死後、幸せに暮らしていけるようにしたい
- まだ分からない
- 本人の意志を尊重したい
- 結婚はしてもしなくてもどちらでもいいので自立してほしい
- 本人の望む生活を選択できるようになってほしい
- 自立して一人で生きていけるように暮らして欲しい
- 自分らしくいられるならどれでも良い
- 将来家庭をつくるとしてもまず一人暮らしを経験させたい
- 経済的な自立

### 問 39 問 38 のような暮らしをするには、どのようなことが心配ですか。(複数回答可)

【回答者数 222 人】



【障害別回答者数（参考）】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	
					手帳	通院
心身機能の状態に関すること	60	27.0%	12	18	2	7
健康に関すること	57	25.7%	13	24	3	6
住む場所のこと	66	29.7%	9	34	5	10
生活するための金銭的なこと	141	63.5%	10	46	9	21
仕事に関すること	155	69.8%	7	41	12	28
人間関係（家族、友人、隣人など）	160	72.1%	9	42	11	27
日中の過ごし方	51	23.0%	9	27	41	6
家事のこと（調理・買い物・洗たくなど）	87	39.2%	1	37	7	13
福祉サービス等の利用のこと	53	23.9%	9	27	2	5
その他	13	5.9%	1	4	0	2
とくに心配ごとはない	9	4.1%	0	0	0	0
無回答	1	—	0	0	0	1

※重複障害の方や障害種別が不明の方がいるため、人数と障害別回答者数の合計は異なります。

【その他回答の主な内容】

- わからない
- 家の戸締りなど特性で不得意な部分の対策の仕方
- 虐待、性犯罪
- 会話が上手く出来るかどうか
- 後見制度、財産管理、死後事務
- 社会でうまくやっていけるかどうか
- 娘を理解してくれる人であってほしい
- 差別
- ニュースで聞くような事件が起きないかといったセキュリティ面

## X 障害者施策等に関する意見・要望

○最後に、市の障害者施策や生活上の課題（生活で困っていること）などについて、ご意見、ご要望を自由にお書きください。

※内容ごとに整理して記載しています。

※一部、ひらがな表記等を読みやすいように改めています。

### ■相談・手続き・周知について

○放課後デイ利用に関して、現在兄弟で利用中。立川だけは償還払いです。ひとり親だと支払いがとても苦しく、又償還も市から伝えてくれるでもなく、自ら動かないとお金が戻らないのは何故？HPにも4,600円以上はかからないと示してあるのに実際9,200円支払っています。他自治体では4,600円のみなのに立川はなぜ可能ではないのでしょうか。早くこのシステムを改善してほしい。(15歳、男性、知的/精神/発達、母親)

○福祉サービスにどのようなものがあるか情報が分かりにくい。(9歳、男性、身体/知的、母親)

○何かを相談しても窓口が平日のみ。どこに問い合わせして良いのか、わかりづらい。教育委員会などに聞いても、通っている学校へとまるで伝言ゲームのようで、なかなか物事がすすまない。結局はどのようにしたらよいですか？と聞いてもあやふやでとくに対処法を教えられるわけではなく、親自身が検索して探すしかないとすごく感じました。相談するのではなく”こうしたい”と伝えないと前に進まないと感じました。通っている学校の先生もタブレットとか配慮とかどうしたらよいのかわかっていない様子だった。手帳とれるほどではないディスレクシアの子はどのようにしたらよいのでしょうか？事例がないから…ではこちらもよくわかりませんでした。”共に暮らしやすいまち”ぜひお願いしたいと思います。(10歳、男性、発達、母親)

○親は自分一人で自分が病気もしくは老いや死亡したときに、兄弟もいない子供がどうやって生きていくのか、どこに相談したらよいのか、金銭面、生活面全て見えなくて漠然とした不安がある。放課後等デイサービスひとつとってもどこも待機状態で利用したくてもできない。福祉サービスは数あれど、情報集めもあれこれ調べるのに時間がかかる。利用しやすいとはいいいがたい。施設を集約した冊子を作ってほしいです。そのうえ施設での事件事故などのニュースを目にするとやるせなくなる。(9歳、男性、身体/知的/発達、母親)

○放課後等デイサービスを利用しようと思った際、個人で場所、内容等調べる必要があった。各施設の様式も異なり、見つける、調べる作業が大変だった。市内で利用できる施設一覧表やより見やすい、分かりやすいホームページ作成をしてもらいたい。相談員の数少なすぎる。市役所からは「自分で相談員をみつけて」と言われたが、どこに電話してもそっけない態度（無理に決まってるでしょと言わんばかり）で電話をかけるのが怖くなった。相談員が見つからなかったら自分で申請書を作成すればよいと言われたが負担が多すぎると思う。(10歳、男性、

精神/発達、母親)

- 声量の調整が難しく、公共施設を使うとき申し訳ない気持ちになる。相談事業所の動きが全くないが、関りはもうないのかあるものなのかわからない。(4歳、男性、発達、母親)
- 療育を利用する際の手続きについてですが、書類の名前を記入する欄が「障害児、氏名」とありました。うちの子は、障害など診断は受けておらず、言葉の遅れがあったため療育利用していました。障害があるわけではないのに「障害児」というところに名前を書くのはモヤモヤしました。「利用児」等の方が気遣いがあると思いました。ご検討をよろしくお願い致します。(6歳、男性、精神、母親)
- 立川市内に療育をしっかりと受けられる機関が少ないと感じています。放課後等デイサービスの職員さんは大変良くしてくださいますが、専門家ではないことが多く、心理師さんや ST・OT といった専門的な療育や相談等を受けられる機関を望みます。(11歳、男性、発達、母親)
- 困った時にどこに相談するかが分かりません。「手帳は〇〇課」とかではなく、一本化してほしいです。(9歳、男性、発達、母親)
- 医療面の問題(医師や看護師の理解、受け入れ態勢、待ち時間、母一人でつれて行くだけでも大変。公共交通機関を使えない。など)立川市は近隣市より遅れていると思う。福祉で働く人を見つける・育てる・アピールする(他市ではアピールするために広報一面全面で紹介したり、お金だけでなく賞状を出したりしている)。人手の確保が重要な課題。(17歳、男性、知的/発達/強度、母親)
- 市役所での手続きではいつも親切丁寧にいただいています。ありがとうございます。今後も利用させていただきますのでよろしくお願いいたします。(11歳、男性、知的/発達、母親)
- 障害のレベルが微妙なのでどこまで市にお願いしていいのかまたできるのか判断できない事が多い。(12歳、男性、発達、祖父母)
- 福祉サービスの利用について(特に未就学児に対して)ですが、計画相談員さんが足りておらず、申請のハードルが非常に難しくなっています。市が配布するリスト全件中、対応可能なのは1件だけでした。(3年前です)断られた理由としては、より重度の知的・身体障害などを持った方が優先で、それだけで手一杯、低年齢は対象外(小学生以降が対象)などです。中にはもう数年前から受け入れてすらいない方もいました。立川市は広いので、1件だけだと距離的に大変な方もいるのでは?何十件も断られて、「どうしたら」という不安もある中で市からはリストを渡して終わり、以降は民間でお願いと言われても…。計画相談員さんを見つけるまで何かしらのサポートが欲しかったです。申請前はまだ情報が足りない状況だと思うので、市のリストが一番頼りになるのです。例えば、できれば1年くらい前までの最新情報に更新する、未就学児受け入れ可能リストを作るだとか、重度のみ、余裕ありなどの注釈や、市のホームページで保育園や幼稚園の受け入れ人数の表示と同じように掲載してみるとか、相談員の拡充より前にやれることは沢山あるはずです。もう民間だけでは発達障害を含めると対応しきれないと思います。(5歳、女性、発達、母親)
- 現在は特に困ったことはないが、児童発達支援を利用したいと思った当時(3年前)、保育所

の先生に勧められたのですが、保育所の方、市の発達健診の方も児童発達支援を利用するまでの過程を把握しておらず、自分でネットで調べたり、連絡をしたりとても負担に感じたのを覚えています。もう少し、周知、認識を広めていただいた方が、利用したい方が利用しやすくなるかと思いました。(5歳、男性、発達、母親)

○発達障害の息子がいます。相談支援事業所がどこもいっぱい、受け入れてもらえませんでした。たまたま友人が紹介してくださり入れました。息子の対応で大変な中、これをするのはとても大変でした。同じ状況の友人がいたため私も同じ相談支援事業所を紹介し、とても感謝されました。相談支援事業所が見つからず諦めてしまった友人もいます。放課後等デイサービスを利用しています。息子の対応と送迎で疲れています。親が頑張り、子供を事業所へ通わせられている子供はまだいいのですが、親が疲れていて子供に支援の手が届いてないと実感しています。支援を利用するまでのハードルが高すぎます。(7歳、男性、発達、母親)

○気づかれにくい発達障害児の子育てにはもの凄いくらいの困難が伴います。小・中学校の担任の先生には申し初めて気づくか、あるいは信じてもらえない程度です。学校では、気が張っているようで軽度に見えますが一方、家では気が緩んで失敗、反抗、嘘、時には暴言があったりします。子供は女子ですが、関わる困難さを理解してもらえず誰にも相談できなくなり、孤立を深めていきます。私ももう同級生のお母さん方、実家の親、義両親、昔からの友人とは連絡を断ってしまいました。ほめても叱っても芳しい成果は少なく何をしても徒労感しか報いのない状況を家庭の中で抱えて煮詰まってしまう危害を加えそうになることもしばしばでした。そんな時、専門家であるスクールカウンセラーの先生、教育相談の先生そして放課後等デイケアの先生方に「確かにお子さんには(困った)特性がありますね。」「周囲の理解のない中、育児されて大変ですね。」「よく頑張ってると思います。」と認めてもらうだけで何か牢獄の中で1人刑罰を受けているような毎日が少し報われたような気がします。また、中学に上がり、子供に求められる事や課題も増えてくる中で一層、困り感を深めていた所に適切に福祉につないで下さって本当に助かりました。「もう少し離れる時間が必要ですからもっと預けて下さいね。」とデイケアの先生に言われた時は、家庭の中で問題を抱えて危害を加えそうになる以外の道があるんだ…と、ほっとしました。「一人で抱えないでいいんですよ。」というメッセージと、「具体的なサポート体制」は当面の間、悲劇的な状況から遠ざかれたと思います。これから先、子供が高等教育課程を経て成人していく中で、どうなるのか先は全く暗いですが「発達障害の困難さを理解してもらえる相談先がある」と言うこと、「問題の子供と一時でも距離をおく事ができる」こと、そして「専門家の先生にデイケアなどで子供に関わってもらえる」事は今のところ、本当に助かっています。(12歳、女性、発達、本人)

○福祉サービスの案内や相談支援所や学校との情報連携なども行ってほしい。現状は必要な支援を勝ち取るためには、親の交渉力次第となっており、担当者との運や相性などにも左右される。病院、学校、放課後等デイサービス、相談事業所とそれぞれの機関を伝書鳩のように親が情報伝達を行い、何枚も同じ書類や話をする仕組みも、行政が主体となって行ってほしい。(7歳、女性、知的/発達、母親)



- 我が家は兄弟で障害の疑いがあるため、弟のケースでは素早く福祉サービスにつながれたが、上の子の時は正直もっと早く動けていればより良い環境を得られたのではないかと今でも思う。1歳半検診から様子見は、希望される家庭は良いが何もわからない家庭もいるので、どういったサービスがあるのか案内（パンフレットを渡すだけでもいい）をしてほしい。特に子どもは成長期間が限られており、伸びるタイミングで療育や医療機関とつながれないと、ズルズル時間だけが過ぎて行ってしまう。特に一人目の場合は、どこまでが正常な発達なのかかわからない。結果的に後々、成長が追いつくのと、様子見で成長の機会を逸するのでは、前者の方が良いはずだ。口頭での案内でなくてもいいので、全家庭にチェックリストやパンフレットを配布するだけでも行ってほしい。そうすることで障害への理解も変わってくると思う。また、救われる家庭は増えると思う。現状では、知識のない人、受容の出来ない人（主に保護者）が一番苦しいと思う。（1歳、男性、母親）
- グレーゾーンの発達障害のお子さんで、支援を利用してこなかったという過程で、2次障害を起こす事があると聞いた事があるのですが、2次障害の具体的な事例、相談窓口等の情報をもっと知りたいです。又、将来的に仕事に就けないのではという心配や社会的信用を無くすのではないかという不安から、診断を受ける事や支援を受ける事を躊躇している家族を抱えている場合の相談出来る場の情報も欲しいです。（12歳、女性、発達、母親）
- 発達の遅れや発達障害に関しての専門的な知識をもっと欲しい。困り事に対するアプローチの仕方、悩みに寄り添って解決方法を考える場所をもっと欲しい。児童支援業の拡大をして欲しい。煮詰まった時のサポートが欲しい。悩みに関して、ふんわりした解答が多い。（市の保健師やその他相談窓口が）（3歳、男性、発達/強度、母親）

#### ■市の対応・接遇等について

- 産まれてから子育て支援課や、保健師さんの訪問等ありましたが、情報が統一しておらず、各々で説明が必要なおが多かった。また、担当の方も4月で変わってから引継ぎされておらず、一からの説明が手間。失礼なことを聞いてくる人もいる。わざわざ赤ちゃん訪問で色々情報を提供しているのだし、他の課と連携してサポートする体制をとってほしい。（1歳、男性、身体、母親）
- 療育に通うまで、かなり長い時間かかりました。また、そこまでに進む過程、流れも無知だったので、不安だらけでした。今、幼稚園を卒園後の進学にあたり、不安があります。市の発達相談は、アドバイスなどとても助かりますが、息子本人を目の前に「発達に凸凹があるからね」とはっきり言われて傷ついたことを今でも忘れません。プロの方でも、子どもの人権とかは守れないのかな…と悲しい気持ちになりました。再三お願いしても息子の前で、その様な発言は続き…。改善を求めるにはどこにお願いしたらよいか教えていただけたら幸いです。友達や知り合いも同じように傷つき悩む方々がいるので、職員の方々への認識の改善をお願いしたいです。（4歳、男性、精神/発達、母親）

- 市の発達相談に通っていましたが、相談員の方が今までの記録用紙を持参せずに来られたので、しっかりと把握されていないんじゃないかと不安な気持ちになりました。園での様子でも、体が小さくてそもそも活動することすら難しそうだったと言われたので、言葉の選択に気を付けて頂きたいです。(5歳、男性、母親)
- 市の施設の管理人・課長共にひどい言われ方をされた。障害児への配慮が全くなく残念だった。(9歳、男性、精神/発達、母親)
- 立川市教育委員会主催のイベント等でも支援級の存在が忘れられており(選択肢すらないなど)行政の姿勢がそのまま現場にも降りてきていると感じる。先生や子どもなど個人レベルでは理解がある人もいるが、コロナ禍で分離教育が加速したと感じる。障害と言っても一人一人の特性や性格は異なるため、より柔軟なインクルーシブ体制を望みます。(7歳、女性、知的/発達、母親)
- 市役所、障害福祉課の窓口の方が冷たかったので、悲しい気持ちになりました。分からない事を質問したら忙しかったのか、面倒くさそうな態度で対応されて嫌な気分でした。(9歳、男性、発達、母親)

#### ■障害理解・啓発・条例について

- 発達障害、自閉症、アスペルガー症候群、その他の特性をもつ幼児、児童、成人への理解をすべての教職員や保育士、幼稚園教諭には、もっと専門の知識を身につけて、関わり方や個々の特性について知ってほしい。そうすることで就学の引き継ぎももう少しスムーズにいくのではないと思う。立川市の幼稚園は発達障害の傾向がある子どもの入園について否定的な思いがあるように感じたことがあります。発達の特性がある子どもとその親の気持ちを温かい目で受け入れてくれる幼稚園が近所にないことにとても残念に思います。私たち親子は現在、市外の幼稚園に自転車で片道20分かけて登園しています。今の生活はとても大変ですが、市外の幼稚園の先生方、園(園バスもないですが)は、息子にとっても温かい教育をしてくれます。(5歳、男性、精神/発達、母親)
- ドリーム学園に通うことが出来て本当に助かりました。他市では、そのような制度がなかったため本当に感謝しております。現在は特別支援学校に通学しています。将来は特別支援学校(高等部)に通学し、福祉就労出来ればと思っています。出来ない事よりも出来ることを一つ一つ増やしていき、知的障害をもつ身ではありますが、自信をもって社会と接点をもって欲しいと両親共に願っております。市の商工会議所等に障害者雇用への理解・啓発を進めて頂ければ幸いです。(6歳、女性、知的/発達、母親)
- 見た目には全く分からない障害の為、周りに理解されるまでに時間がかかる。特性について伝えてもなかなか理解されず、本人もサポートする親もとてもしんどい。その親へのサポートも、まだまだ少ないと思う。本人の友人関係においても心無い言われ方をする事も多く、必要以上に傷つく場面が多いと思う。皆と同じように出来ない、学校に行きたいけどうまく適応出来ない、それだけでも本人にとってはとても辛いのに「特別扱い」や「ずるい」などをはじめ、責

められるような言葉が多い。障害がどうこの前に、もう少し生き辛さが軽減されてほしいと思う。啓発活動なのか、思いやりなどの道徳的教育なのか…専門家以外の方にも理解される世の中になってほしい。(12歳、男性、発達、母親)

- 今、ドリーム学園で子どもがお世話になっておりますが、先生方が一生懸命子ども達や家族に寄り添ってくださり、数年前(入所前)には考えられなかったほど、穏やかに落ち着いた生活をする事が出来ています。立川市の「障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」ととても素晴らしいと思います。今後も暮らしやすいまちづくりを是非お願いしたいです。「発達障害」について、まだあまり知られていないかと思しますので、周りに理解や関心を持ってもらえるような何かが出来たらいいなと思います。(5歳、男性、知的/発達、母親)
- 副校長と担当が特別支援教育への理解がとぼしく、必要な配慮を甘えと受け取られてしまい、何度話し合っても理解されず困っています。(10歳、男性、発達、母親)
- 学校(小・中)の先生方に特性を理解して接して頂きたいので、研修等、学びの場を設けてもらいたいです。(11歳、男性、知的/発達、母親)

#### ■ヘルパー、ショートステイ(レスパイト含む)等について

- 移動支援の出発・着の場所が同じでなければならぬ決まりをなくしてほしい。国立や国分寺は大丈夫なのに、多摩地域で大きな市の立川市ではダメなのは、とても悲しい。(15歳、男性、知的/発達、母親)
- 立川市内に就学児が利用できるショートステイがない。(低学年のうちから定期的に練習をさせたい)(6歳、男性、知的、母親)
- 登下校に現在、ファミリーサポートを使うことがある。金銭的に負担であること、中学生になったら利用できなくなることに不満があります。移動支援で利用できるようにしていただきたいです。(10歳、女性、知的、母親)
- 現在、放課後等デイサービスを利用しているが(2ヶ所利用し1つは送迎サービスがない)、送迎サービスがない施設なので移動支援を使いたい。放課後等デイサービスへの送迎があるので仕事ができない。(10歳、男性、知的/発達、母親)
- 24時間対応していただける訪問介護・訪問看護をさがすのが難しい。(16歳、男性、身体、母親)
- 移動支援事業を利用していたが、新規受け入れを中止している。ヘルパー不足で受け入れが難しいなどの理由でほぼ利用できない。(利用する可能性があるとなれば、保護者側で移動支援を受けていただける人をさがして、ヘルパー事務所に登録してもらって、その人にやってもらうという事ぐらいかもしれません)(12歳、男性、知的/発達/強度、父親)
- すでに各方面から要望が出ていると思いますが、移動支援の利用条件をもっと柔軟にしてほしい。自宅発着でなくてもよいかたち(例:事業所から自宅まで外出先から保護者との待ち合わせ場所までなど)にしてほしい。また、ヘルパー不足なので市が積極的にヘルパーを育成したり、好条件で雇用できる施策を行って人材が集まる仕組みをつくってほしい。周辺市の事例

を参考に立川市も同レベル（少なくとも）の制度を目指してほしい。多摩地域を牽引する主要都市として、恥ずかしくない福祉を実現してほしい。応援しています。（14歳、女性、知的/発達、母親）

○立川市内に小児が利用できるショートステイがないので作ってほしい。（10歳、女性、知的/発達、母親）

○立川市は何十年経っても障がい者や高齢者にとって解決してほしい問題が解決されていない。例をあげると、子供の移動支援も他市は充実しているが立川市だけ進んでいない。とても大好きな立川市、生まれも育ちも立川で見守り続け、アクションもとっているが、現状維持に甘えているように感じる。（15歳、女性、知的/発達/強度、母親）

○通学や放課後の過ごしについて、朝の送迎を現状、ファミリーサポート・ベビーシッターを使って行っている。一時期ファミリーサポート・ベビーシッターが見つからず、移動支援事業を相談した事があるが、支援内容が要望と微妙に合わず利用できなかった。そのため、朝や放課後等デイサービスから帰宅後や弟の用事などでやむを得ず不在にする際、一人で留守番させている。ベビーシッターに結構な額がかかっているが、世帯収入の限度額に引っ掛かり助成金などが無いこと。行動援護は知らなかったため、通学などにも利用出来るのか知りたい。将来や先のことを考えて支援学校を希望したが、身近な（近所の友達や職場の活動に参加した際などに）人から支援級じゃないのや支援級の方が良いんじゃないと言われることが多々あり、判断を間違えてしまったのかと迷いや後悔がある。（7歳、女性、知的/発達、母親）

#### ■日中サービス・通所等について

○子どもの福祉サービス等の利用について、精神手帳を持っていて心疾患があり療育手帳なしの人は利用できるサービスがなさすぎる。唯一利用していた放課後等デイサービスも月23日出ていたが空きははず、仕方なく週一で通っていた所は運動系。でも心疾患患者なので運動系ではない事業所を探してもらっていたが、ないまま2年経過。結局週一でさえ辞めてくれ（スポットにしてくれ）と言われ現在ゼロ。仕事も辞めざるをえない状況を何度も経験。辟易しています。（11歳、男性、精神/発達、母親）

○放課後デイサービスを利用していますが、本当に利用したい日数分、利用できません。利用者が多いのに利用できる事業所が少ないので困っています。そのためどうしても親が見なければならず仕事なども難しく金銭的に余裕がありません。親側に精神的、金銭的余裕がなくなると、子に対しても良い影響ではなく、困っています。（7歳、男性、知的/発達、母親）

○療育の場所は複数あるが集中していることがあるため、いろいろと広い地域にあると通いやすい。（2歳、男性、発達、母親）

○保育園や幼稚園では延長保育等、夕方まで子どもを預ける事ができますが、児童発達等では未就学児を夕方まで預ける手段がありません。医療型だと気を使って頂いて少しお迎えを遅くしてもらおう等の対応をして頂ける事がありますが、時間を気にする事なく用事を済ませる日が作れると嬉しいです。（4歳、女性、身体/知的/発達/高次脳、母親）

- 放課後等デイサービスを利用しているが利用時間が 11:30~15:30（夏休みや長期休みの場合）開所時間を延ばしてほしい。（10歳、男性、知的/発達、母親）
- 絵画教室や演劇教室の様な放課後等デイサービスを作してほしいです。（図工教室等も有れば利用したいです。）（6歳、女性、発達、母親）
- 現在、児童発達支援を利用させていただいています。療育を始めて1年になりますが、この1年でできることがたくさん増え、言葉を口にすることも増え、本当にありがたく思っております。（4歳、男性、発達、母親）
- 息子は今、小6でまだ先の事ですが卒業後の進路が心配です。通所施設（生活介護）は、あまり多く無く、空きも出ないので満足な日数が通えないと聞きます。高齢者の施設はたくさん出来てるのに、障害者の施設はまだまだ少ないような気がします。立ち上げるのは民間企業ですが、もっと行政に介入してもらえたらありがたいです。（11歳、男性、身体/知的、母親）
- 放課後等デイサービスを利用しています。送迎がある教室は大変助かります。家の人を送迎できなくて利用したいがあきらめる、減らす等の家庭もあるのではと思います。何か通所しやすいサービスがあればと思うことはありました。（10歳、女性、発達、母親）
- 普通級に通っている子どもの為の放課後等デイサービスをつくってほしい（普通級の子もだけの）。中学・高校・大学の受験の為の学習塾をつくってほしい（受給者証の範囲で利用出来るところ）。通所受給者証で1日に複数箇所利用出来るようにしてほしい（特に夏休みなどの長期休暇中）。（9歳、男性、発達、母親）
- 放課後等デイサービスの塾に通っているが、なかなか希望の所が無い。あったとしても定員オーバーの待機となってしまふ。（11歳、男性、発達、父親）
- 現在、学童と放課後等デイサービス（比較的障害が軽いので週1回程度です。）を併用しています。本人は放課後等デイサービスが好きでもっと通いたいと言い、保護者もそう思っていますが、夏休み中は10:30からの登所しかできず困ります。（朝、早い時間から大人が働きに出してしまうため放課後等デイサービスの時間が始まる3時間を一人で過ごさなくてはならないので、結局デイサービスの利用は出来ません。）学童は、多人数で騒がしく、うちの子のように精神的な不調をかかえている子どもにとっては、ストレスフルで通うとすごく疲れてしまうのです。放課後等デイサービスも学童と同じ時間に登所出来るようにしてほしいです。ファミリーサポートセンターで送迎を頼むと毎日のことなので、負担するお金が大変で払えません。（7歳、男性、祖父母）
- 相談支援事業所や放課後等デイサービスについて。①現時点で市として把握している事業所及び放課後等デイサービスの実態（場所、人員等に関する統計、委託業者名など）②サービスの利用にあたって市内小中学校との連携がどのようになっているか（書類や面談などが都度発生するのを避けられないか）③市の（およびその他の援用できる）予算上の具体的な数値（予算・人員増の障害となる事情がある場合は、その除去に向けて何が必要か）④放課後等デイサービスに空きがない場合があるため、キャパ増をお願いしたい（具体的には若葉小跡地に設置できる可能性、そのための障害事由）⑤制度の広報が不十分と考えられるが、改善策はあるか

(例えば、市としての総合的な情報提供。アクセスの機会が限られている) ⑥放課後等デイサービスの利用者への学年別や発達別の細かい対応の可否(人員の問題であるが、レベルの違い過ぎる学年などを一緒にしにくい) ⑦学童保育を中 3 まで利用出来るように調整して頂きたい。(8 歳、男性、知的、母親)

- 余暇活動が少ない。水泳教室以外にもダンスや空手教室などを開いてほしい。(11 歳、女性、知的、母親)
- 放課後等デイサービスを利用したいが武蔵砂川駅より西側地域に少ない。周辺には複数の支援級設置の学校が複数あり、市外の施設を利用しなければいけない。その場合、支援級→支援学校になった場合、送迎利用不可が多く、新たに施設探しから始めないといけないので、とても負担になっている。(11 歳、女性、知的、母親)
- 軽度の発達障害児の場合、支援を受けるハードルが高いと感じる。もっと気軽に利用出来たらと感じた。空きがないと入れない、順番待ちなど、どうにか出来ないのかなと感じる。発達障害で困っている子ども達が、大人から見過ごされてしまうことがない世の中になる事を願っています。(8 歳、男性、発達/高次脳、母親)
- 良質な放課後等デイサービスや学童の加配枠増など、放課後支援。(7 歳、女性、知的/発達、母親)
- 放課後等デイサービス、とても助かっています。仕事や用事の時間が延びてしまった時に、延長できると助かります。他の兄弟の行事等の時に、一時預かりが出来るシステムがあると助かります。(17 歳、男性、知的/発達/強度、母親)
- 放課後等デイサービスが(重心)、立川市に 1ヶ所出来てとても助かっています。ですが、利用したい人は多く今後も増えていくと思うので、もっと立川市に増えて欲しいです。又、卒業後の受け入れ先としての生活介護事業所が(重心)、立川市にはないと聞いていて不安に思っています。家の近くに受け入れ先があると安心ですし、なるべく地域で生活をして、周りの方々にも認知して頂きたいです。(8 歳、男性、身体/知的、母親)
- 平日は訪問看護ステーションの看護師さんにいらしていただいています。営業時間が 17:00 とか 17:30 までで、医療ケアに 90 分くらい時間がかかるため、15:30 頃から来ていただきます。なので、学校は早退する日が多くスクールバスにも乗れず、親のお迎えとなっています。今後もずっとこのような状況が続くのは大変だなと思っています。立川市にも、重度の心身障害児の放課後等デイサービス事業所が出来て、そこで医療ケアや入浴も行っていただけるととてもありがたいです。(11 歳、女性、身体、母親)

#### ■保育園・幼稚園・学校・学童等について

- 共働きやひとり親の場合、ろう学校の付き添いが難しく通いたくても通えない。また、毎日の絵日記や言語習得のための教材作り等、母親への負担が大きい。現在①放課後等デイ②難聴学級、③学童に通っているが、難聴学級、学童、小学校ともに書類や対面等のアナログ中心で負担が大きい。放課後等デイのようにアプリ、Zoom を使う等デジタル化を推進してほしい。(6

歳、男性、身体、母親)

- 立川市に2校しかない「自閉症・情緒学級」をもっと増やして欲しいです。「全校にあると生徒が足りなくなってしまう」という回答を広報で見ましたが、全校ではなくとも増やして欲しいです。定員があって入れないかものことですが、この学級に入るために近い場所に住んでいます。もし入れなかったら遠い学校（ネットでは徒歩16分と出ます）なので通学が大変です。素直に歩く子ではないので大人の倍以上の時間がかかります。（今は、インターネット上で徒歩8分と出る園に通っていますが、子供と歩くと25分かかります。）自閉症だからこそ通学は大変なので、家から近い学校に入れるようにご配慮いただきたいです。（普通の特別支援級だと勉強の遅れがかなりあるようで不安です。）（6歳、男性、発達、母親）
- 子どもの学校への送迎が必要で8時半～12時半のパートをしています。夏・冬・春の休み期間、学童の「3時まで働いていること」という要件が満たされず学童には使えません。放課後等デイサービスも11時～等必要な時間にあいていなくて給料よりヘルパー代ファミサポ代が嵩む。手帳なしでも、自立はできない子の親は働きにくい。学童利用したい。留守番が無理なんです！！（服薬もさせていてたまにけいれんもあるので一人にはできません）。登校しぶり自律神経の乱れからDr.から通級をすすめられているのに「1年しか使えないから通級は中学年にとっておいては？」と去年の担任の先生にいわれた。使いたい時に何回でも使えるようにしてほしい。今、困っているのに…。慢性的にストレスがたまっている。親の自由時間がほしい…。放課後等デイサービスは「困ってから探す」では空きがない。公設のフリースクールがほしい。しぶったらソコ連れて行こう、と思える居場所がほしい。（8歳、男性、発達/強度、母親）
- 園に預けるときに、人が足りない等の理由で長く預けられない。ドリーム学園さんも結局働けるほどの時間ないので行けず。（4歳、男性、発達、母親）
- 幼稚園の頃からグレーゾーンだと思い訴えていたが、様子見で済まされ、先週キラリの利用が決まりました。普通級の時間をもったいなく感じています。今からでは中学等どうすれば良いのか、幼稚園の頃からデイなどに通い普通級で過ごしている子を見ているとわが子との差を感じます。（10歳、男性、母親）
- 市内九小支援級と上砂小（通常学級）に子どもがいます。毎年毎年、運動会が同じ日でかわいそうです。（10歳、女性、知的、母親）
- 昨年度の就学相談にかかり、特別支援学級を進められて就学しました。息子には知的障害はありませんが、WISCでは問題に取り組めず低いIQになってしまいました。面談をしてくれた方は全員、情緒級が適性と言いましたが、教育委員会だけがそれを認めず、WISCの点数だけで判定を下しました。環境の変化に弱く転学も簡単ではありません。今年またWISCを受けて転学することを勧められていますが、点数を取れる保証もなく、2年続けて就学相談にかかるというストレスにさらされています。どうかWISC以外でも判断してもらえるようにしてほしいです。（6歳、男性、精神/発達、母親）
- 集団生活を送る所を探していますが、どこがいいのかどう判断していいのか、わからないので

困っています。発達に遅れがある方も受け入れてくれる幼稚園やこども園の情報の提示をしてほしい。(1歳、男性、発達、母親)

○学校教員の発達障害やいじめ対応の知識のなさ、それらの支援窓口すら知らないことに驚きました。各学校に一人は詳しい人を配置して下さい。(10歳、女性、発達、母親)

○年長の娘をもつ母です。今、就学を支援学校か通常級かで迷っています。将来、地域に溶け込めるように子供達とつながりたいと思って希望しているのですが、通常級に行く支援学校のような教育は受けられません。当たり前のように聞こえるかもしれませんが、なぜでしょうか？どこにいても、その子にあった教育を受ける権利が子供達にはあると思っています。復籍制度がありますが、これは支援学校の子が地域交流の為に持っている制度で、通常学級に行った障害児には支援学校に行き支援を受ける事は出来ません。なぜでしょうか？都と市の方々に聞いても「気持ちはわかるが制度がない」と言われてしまいました。もし『逆の復籍制度』があってはいけない制度でないなら、やれる可能性を少しずつでも広げて欲しいです。「インクルーシブ・多様性」が子供達のあたりまえになったらいいなと思っています。(5歳、女性、身体/知的、母親)

○学校からは、さくら学級を進められているが、転校をしなければいけない、遠方になることから。近い将来、中学校に上がった時の未来像などについて、意見や考え方に180°違いがあるのでそこが毎回苦しい部分に感じる。担任の先生はとても信頼できる優秀な方なので、まずは現状の生活を当面続けたいと思っています。(7歳、男性、発達、父親)

○市に限らず国でもだが、不要な配慮がなされ実際に必要な情報があいまいでわかりづらい表記になっていることが多くある。現在支援学級在籍であるが、進路として支援学校を探そうとしたとき、どの程度の障害であればどの学校に適しているのか非常にわかりづらい。通学区域を超えた選択も容易になれるよう例えば偏差値のようなわかりやすい指標を開示してほしい。(11歳、女性、知的/発達、母親)

○通学について。発達障害という特性上、距離が近ければ近いほど通学への心理的負担(車の大きな音や気温が高い時など)や注意力散漫による危険が減ります。学区外を勧められた時、片道1kmほどの学校でした、とても徒歩で通うには体力もありません。車も無いので、通学バスやバスの補助金など、考えてもらえるとありがたいです。あと、1年生の付き添い必須の学校へ通うのも親の負担が大き過ぎて、とても今の時代に合っていないと思います。1人登校が1年間で可能とは思えないので、数年または6年間付き添いが必要かと思うので、やはり親の負担が大きすぎます。学校決定について、進学決定が1月下旬は遅いと思います。一般の子と同じようにとまでは言いませんが、もう少し早く暫定でも良いので早く知りたいです。(5歳、女性、発達、母親)

○子に障害があることにより、できればつきっきりでできる限りの手当てをしてあげたいのですが、かないません。兄弟もいるので平等とまではいきませんが不満にならないようにしてあげたいです。仕事をしながら、けれども保育所のような時間帯で預けられる発達支援的な保育園・特別支援学校プラス学童などあれば良いなと思います。障害があってもなくても普通に暮



らしたいです。病院での待ち時間もほんの数分でも子どもは障害のため待つことが出来ません。兄弟が熱を出す、本人もそうですが、病院へ行くのにも考えてしまいます。買い物も何をするにも一苦労します。何かいい方法があればと思います。ネットもありますが兄弟は外へ出かけた。いろいろ悩みます。(4歳、男性、知的/発達、母親)

- 支援学級に通っています。構音障害があり他市の病院で言語聴覚訓練を月2回受けています。支援学級に在席しているとしても、その面では何かを得られているわけでもないのに、「きこえとことばの教室」に通えないのは疑問です。人数や1人当たりにかかる費用の面などあるのだと思いますが、特別支援学級でも教室利用出来るようにしていただけたらと思います。(6歳、男性、発達、母親)
- 立川市には公立の幼稚園がないため、私立幼稚園の中から選ばなければならないが、受け入れ不可のところが多い。受け入れ可の園ももちろんあるが、加配の先生をつけてくれるところが少なすぎる。受け入れ可の園でも先生が発達障害児の対応の仕方を知らないケースが多々ある。(3歳、女性、発達、母親)
- 立川市の特別支援学級について、全体像を教えてください。①それぞれの特別支援学級の性格や強化分野などの統計(特別支援学校教員免許の保持者も含め、各校の人員体制の統計)②人員や心理士、医療・衛生面でのフォローの体制、人員体制の統計(グレーゾーンの子どもへの対応体制はどうなっているか)③支援級に進んだ場合でも療育面でOT・STを未来センターで継続できないか④市教育委員会のSSWの各担当分野とフォローアップ体制⑤小学校に加え中学校にも発達障害や情緒学級を設ける今後の進展の見通し(情緒学級の増加の予算的なロードマップなど) (8歳、男性、知的、母親)
- 自閉症、情緒障害特別支援学級を増やしてほしい。きこえとことばの教室を利用すると通級が利用できない状況を変えてほしい。(11歳、男性、発達、母親)
- 学校への支援はまだだだと思う。条例があったり、HPでは、それらしいことは言っていると思うが、実際の現場では、誰もが平等に授業を受け、学校に通っているとは思えない。本当に合理的配慮しているのか、しようと努力をしているのか。結局、介護、ケアしている人(主に親)が努力して頑張っているのが現実。障害を持つ子をケアしている親は、色々我慢して、苦労して、頑張っていると思う。このままでは、親のサポートも必要になるのでは?産後うつのように…。(6歳、男性、発達、母親)
- 情緒支援学級に通っています。児童人数ではなく特性や障がいの重軽度に対して職員(教員・支援員)が少なすぎ毎日、他害・暴言暴力や荒れが起きています。支援級に通っている子には繊細な子も多く、暴言暴力を見聞きすることで心を痛め、登校できなくなったり、登校を渋る子もいます。また、支援級の経験がない先生が担当として受け持たれることも多く、先生も手探り・不安な中で試行錯誤されてる様子が伝わります。市としてドリーム学園から職員さんの派遣や巡回・アドバイスなどしていただくことはできないでしょうか?療育を積み重ねてきたこの中には、やり方の違いで戸惑いや大人への不信感を持つ子もおり、見ていて辛いです。(ぜひ、お願いします。)市長と教育委員の過去の議事録を拝見しました。あまりにも見当違

いのトンチンカンな市長の受け応えに驚きました。もう少し、障がいに対する理解をしていただきたいです。(10歳、女性、発達、母親)

#### ■入所施設・グループホーム、将来等について

- 親が高齢になってから、また死後のことが一番心配。立川市はGHなど建設に消極的だと聞いた。ハードルは高いと思うが前向きになってほしい。(15歳、男性、知的/発達、母親)
- 高等部卒業後は、おそらくは生活介護事業所にお世話になることと思います。親が先に亡くなりますので、その前に身も心も安心して暮らすことのできるグループホームもしくは入所施設に入れたいと思っておりますが、今のところ立川市にはそういうところは少ないです。ぜひこの生まれ育った立川市につくっていただきたいです。何卒よろしく願いいたします。(16歳、男性、知的/強度、母親)
- 体も大きくなり力も強くなってきたので、癩癩を起こした時の暴れ方が激しくなり家族や本人も危ないなと感じる時が多くなってきました。叫び声なども大きく近所迷惑や虐待を疑われるのでは？と思うこともあります。まだ小学3年生でこの状態なので、さらに体が成長したときに状態がこのままなら…と思うと不安になっています。(8歳、男性、知的/発達、母親)
- 娘が安全に暮らせるように女性だけのグループホームをたくさん作ってほしい。医療費の補助をしてほしい。障害年金と給料で生活できるようシステムを構築してほしい。軽度の障害でも18才以降、利用できる福祉サービスを作ってほしい。(17歳、女性、発達、母親)
- 国は、「地域での生活」をすすめたらしいがグループホームや小さな施設などほとんどないし、立ち上げようにもお金、人、手続きなどでハードルが高い。もっと作りやすいように寄り添った支援をしてほしい。放っておいて一般の市民がすぐに作れるものではない(作りたいたいと思っはいる)。特に重度の人にとっては深刻。支援して市民が作ってくれるようにした方が、結局のところ市の財政もありがたいはずだ(祖父母、父母を含め、必死でお金を出すことになる)。空き家利用なども優先的に利用させてほしい。住居が決まらなると、成年後見の話にもならない。親に預貯金や株、土地などがあっても、GHなどに有効に使えないなら結局、国に入ってしまい市のものにはならないし、後々の処理で出費することになる。障害者が安心して住めることが市の財政を結局は助けるし、仕事も楽しくできるようになる。長い目で行政を考えてほしい。(17歳、男性、知的/発達/強度、母親)
- 重度の身体障害者ですが、入所(短期・長期)利用が難しい(入れない)、とても困っています。(16歳、男性、身体、母親)

#### ■その他の障害福祉制度・サービスについて

- 放課後等デイサービスは日数を出してくださり助かっています。しかしながら、保育所等訪問支援に関しては、必要性を求めても担当者の方だけで情報が止まってしまい伝達が不十分と感じます。故に日数が希望より少ない。必要な子に必要な日数を与えてください。(15歳、男性、知的/精神/発達、母親)

- 成年後見制度は、高齢者想定で作られた制度なので、知的障害の方に合っていない。市からも都や国に積極的に意見をあげてほしい。(15歳、男性、知的/発達、母親)
- 軽度の障害でも18才以降、利用できる福祉サービスを作ってほしい。(17歳、女性、発達、母親)
- 難病(ヒルシユスプルング)ですが、症状としては軽度のためカテーテルやオムツ等(他の子より大量に使う)に助成がないのが苦しいです。他の自治体は助成されているところもあるようです。助成金をだしてほしいです。(9歳、男性、発達、母親)
- 首すわりのない寝たきりの状態の子どもです。散髪に連れて行くのも大変で(イスに座る姿勢が取れない)、髪の毛が切れず困っています。高齢者のように訪問理容のサービス券等、受け取れると助かります。(5歳、女性、身体/知的、母親)
- ドリーム学園をはじめ、未来センターの発達相談や、にじっこ子育て広場の先生方にこれまで本当に支えていただいています。心からの感謝をお伝えさせていただきます。住まいが一番町の為、ドリーム学園や未来センターへのアクセスが少し不便と感ずますが、今のところ困りごととは少なく過ごせています。立川市からオムツの支給を受けさせていただいていますが、いただいているメーカーのオムツだと小さめでサイズ感が合わず、あまり活用できずにおります。オムツ用の商品券など別のかたちでの支援があると、とても嬉しいです。(3歳、男性、知的/発達、母親)
- 利用できる枠の増設を希望します。(予算や人員など様々なことがあることは承知していますが…。)(7歳、男性、発達、父親)
- 送迎について。①登校時の送迎サポートを、小中だけでなく高校ないし就労段階も可能に②知的障害のある子の学校や放課後等デイサービス、学童保育への送迎について、送迎バスサービスを他市と同様に用意してほしい③宿泊施設へのお泊りの際の公共交通機関使用の緩和とバス貸し切りの為の予算の確保(9小は50人レベルの移動。身体的に公共交通機関使用では不安。また貸し切り用の予算は用意できるのか、その裁量権者は誰になるか)(8歳、男性、知的、母親)
- ST・OTなどを受けられるようにしてほしい。(7歳、女性、知的/発達、母親)

#### ■金銭面・(保護者を含む)仕事等について

- 現在、子供は中学生だが人と関わるのが難しい為、一生親が見てあげなくてはならない(おそらく働くことはできない)。ただ障害としては軽度とのことで手帳等ないため金銭的な負担が心配(親もだんだん働けなくなるので)。親が亡くなった後の生活も心配です。(13歳、女性、発達、母親)
- 医療費の補助をしてほしい。障害年金と給料で生活できるようシステムを構築してほしい。(17歳、女性、発達、母親)
- 障害児の保護者(特に母親)に対する負担が大きい、就労できない。特に小学校は支援級の児童は送迎必須。学校・学童間の移動も保護者がやらないといけない。ファミリーサポートセン

ター利用すすめられるが、毎日のこととなると費用がかなり大きい。共働きの家に障害児がいるととても辛い。放課後等デイサービスがどこもいっぱい児童発達支援から途切れる。移動支援事業の条件が厳しくあまり使えない。障害児なので使いやすくすることが、保護者のうつ・虐待リスクを減らすことにつながると思います。(5歳、女性、発達、母親)

○アンケートを記入した子の兄妹が病気で小児慢性を利用して通院している子がいます。体調の変化に波もあり、体調を崩すこともあり見守りが必要で、パートも思うように行けない事が多いです。長男は何もなく、病気がちや手のかかる弟妹のことを理解して、わがままを言わず生活してくれていますが、大学も私立でとてもお金がかかり、金銭的に生活が大変です。病気の方では2カ月に1度、お金はもらえてはいますがなかなか難しいです。(入院の為、他県へ転院し数カ月、両親共に仕事へ行けない時期もありました)アンケートに記入した様な子は、幼い時の対応がとても大切なので、ゆったりした気持ちで、しっかり成長を見守ってあげたい気持ちも強いですが、生活の為に母親が少しでも仕事をしなくてははいけませんし、思う様な子育ては難しいです。もう少し金銭的にゆとりが持て、長男の頑張りを応援してあげたいと思います。もっと大変な家庭もあるのかもしれないので、頑張らなくてはいけませんし、もう少し子ども達ひとりひとりや生活の金銭的にゆとりのある生活が出来るといいと思います。通院や入院等、繰り返していて病院へ行く事が多く、多くの病気の子を見ることがありますが治療や見守りが長く続く病気は、親としてもそばで見ているのは精神的にともしんどい事が多いです。どうしても病気の子に両親の気持ちが向くことが多いですが、兄妹3人に同じ様にしたいと思います。(11歳、女性、発達、母親)

○支援級、支援学校の登下校の送迎時間が合わなく、フルタイムで働く事が出来ない。(11歳、女性、知的、母親)

○雨の日に療育に出かけるのが自転車で往復4km行って大変です。金銭的な事を考えると、バスや電車、タクシーなど利用を控えている状態なので、利用日数や送迎なしの施設利用の人に一部、通所移動の費用を負担していただくと助かります。(5歳、女性、発達、母親)

○特別支援学級のある学校に学区外から通うには距離が遠く、毎日の送迎は不可欠ですが、共働き家族にとっては、負荷が大きいと感じます。送迎を手助けして頂けるサービスを希望します。(8歳、女性、発達、本人)

#### ■施設・設備・交通等について

○10歳の児に身体障害があるので、自転車のチャイルドシートに乗せて移動しているが、駐輪場のおもいやりスペースがすぐに満車になるため、子どもを抱っこしての階段昇降が大変です。どんな子どもでも遊べるユニバーサル遊具を公園に設置してほしい。(9歳、男性、身体/知的、母親)

○車イス用の駐車場は多くあるが、スロープを出せる駐車場が少なく、利用できる外出先が限られてしまう。(8歳、男性、身体/知的、母親)

○市営プールの一般コース内に水深調整の為の踏み台があるとありがたいです。プールに興味

を持ったものの、集団レッスンは拒否の長男です。プライベートで市民プールへ行きましたが、ギリギリ顔が出る深さなので安心して泳ぐ練習が出来なくて残念でした。ご検討宜しくお願い致します。(8歳、男性、発達、母親)

### ■健康・医療について

- 高校生になり小児科ではなく一般病院をそろそろ受診（内科など）しようと思っておりますが、障害にご理解のある病院が分からないので困っています。歯科のように障害者受入可能な病院の情報提供を是非お願いしたいです。(16歳、男性、知的/精神/発達、母親)
- 障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例ができたが暮らしにくい。特に医療機関や美容院、飲食店など身体障害者に対する配慮があっても、知的障害者（自閉症者）に対する配慮をしてくれる所やその人々の理解が足りないのでキツイ。医療機関であってもまともに受けられないので、他市にまで足を伸ばして通っている。中には時間帯や曜日で障害者が気兼ねなく受診できる枠を用意してくれている所もあるのに、立川市にはない。うちは科によって他の市や区にまで行っている。(10歳、女性、知的/発達、母親)

### ■アンケートについて

- 最近、「発達障害」は「神経発達症」と言われるようになったり、“障害”を“障がい”やひらがなに直されていることをこのアンケートにも反映してほしいです。(4歳、男性、精神/発達、母親)

### ■その他

- 1才6ヶ月健診まで話さず不安だったが”これができるからきっと大丈夫”とできることを見つけて目をそらしていた気がします。姉が言葉も成長も全て良かったので比べていたんだと思います。10ヶ月の時保育園から”痲癩もあるし発達はグレーかもしれない”と個人面談で言われてとてもショックでした。1才6ヶ月健診の時、Dr.に言ったら”発達のプロじゃないのに分かったことを言って！気にしなくて良い”と怒ってくれたのは涙が出ました。しかしそこで腹を決めて未来センターの発達相談に行きその場で意見書を書いてもらうことをお願いし、療育の事業所とCMを決めて市との面談も決め1ヶ月後には通う流れとなりました。それから1年半が経ち言葉がとて出るようになり発達には問題ないだろうとの事。来年は受給者証を返せそうです。未来センターの心理士さん、療育の先生、保育園の先生と私たち父母、タッグを組んで子をあらゆる角度から見えています。自分の”障害”という偏見から目をそらさず、本人が生きやすいよう今、何が出来るか、だけを考え腹を決めて行動して良かったです。心理士さんに巡回保育をしてもらい私が知らない彼女の姿を見てもらえること、とても助かっています。市に助成してもらい本人の生きやすさが改善しただけでなく、私たち親の見方であり支えになってもらっているのが一番大きいです。いつもありがとうございます。(2歳、女性、母親)

## X 障害者施策等に関する意見・要望

- 地域において子どもの居場所が少なくなっているような気がします。子ども会に所属していましたが、コロナで活動が休止してしまいました。また、障害のある子どもたちが地域の中で見守られたり、活動できる取り組みや交流があればと思います。例えば高齢者やボランティアとの交流で調理や片付けなど教えてもらったり、一緒にゴミ拾いをしたり等、または、体操でも良いと思いますが、何らかの地域での交流があるとお互いに安心して住み続けることができるのではないかと考えます。現在私は、8050 問題等に関わっていて引きこもりを無くしていくためには、子どもの時代からの地域の関わりが大切なのではないかと考えています。神経発達症が二次障害にならないよう、孤立感を生み出さないよう、温かい町づくりが大切ではないかと思っています。(11 歳、女性、知的/発達、母親)
- 障害のレベルが微妙なのでどこまで市にお願いしていいのかまたできるのか判断できないことが多い。(12 歳、男性、発達、祖父母)



立川市第3期障害児福祉計画策定のためのアンケート調査結果報告書

令和5（2023）年11月発行

発行 立川市

〒190-8666

東京都立川市泉町1156番地の9

電話 042-523-2111（代表）

FAX 042-529-8676

ホームページ <https://www.city.tachikawa.lg.jp/>

編集 福祉保健部障害福祉課